



タイプ別解説付き！
売買システム攻略ガイド

はじめに

『エコトレFX』とは、自動売買サービスの名称であり、システムのハード部分にあたります。そのエコトレFX上で稼働しているのが、『売買システム』と呼ばれるソフト勢になります。

各売買システムには、「クロックトリガー」や「ループ・イフダンB30_30」や「ユーロマニア」など、個性的な名称が付けられており、それぞれに異なるトレードルールが、あらかじめ決められています。これにより、お客様がシステムやルールなどを構築していただく必要が、一切ありません。各売買システムが発する新規と決済のシグナルに沿って、自動的にトレードが行われていきます。

そこでお客様に求められるものは、「運用する売買システムの選定作業」と「運用開始後の入れ替え作業」です。その他、手動決済などのマニュアル操作を入れていただくことも可能です。

エコトレFXでは、その選定作業や入れ替え作業を簡単に行っていただけるよう、各売買システムをタイプごとに分けて、それぞれの特徴を捉えやすくしております。タイプ分けされた特徴を運用に活かせれば、勝利への道がグッと開かれるかと思われれます。本書では、それらを分かり易く簡潔にまとめていますので、エコトレFXの攻略にお役立て下さい。

Strategy type

一発逆転	P.4	デイトレ	P.24
トレンド	P.10	コツコツ	P.30
オールマイティ	P.14	ループ	P.35
アンチブレイク	P.19		

タイプによる抽出方法

タイプ別の抽出方法は非常に簡単です。

下記の画面はエコトレFXログイン後の画面です。①～④の手順だけで抽出が完了いたしますので、その後は計測期間の変更や各項目ごとにソートするなどして、ご自身に合った売買システムをお探してください。

① 売買システムを選ぶ

② 複数選択中

③ タイプ

④ 検索



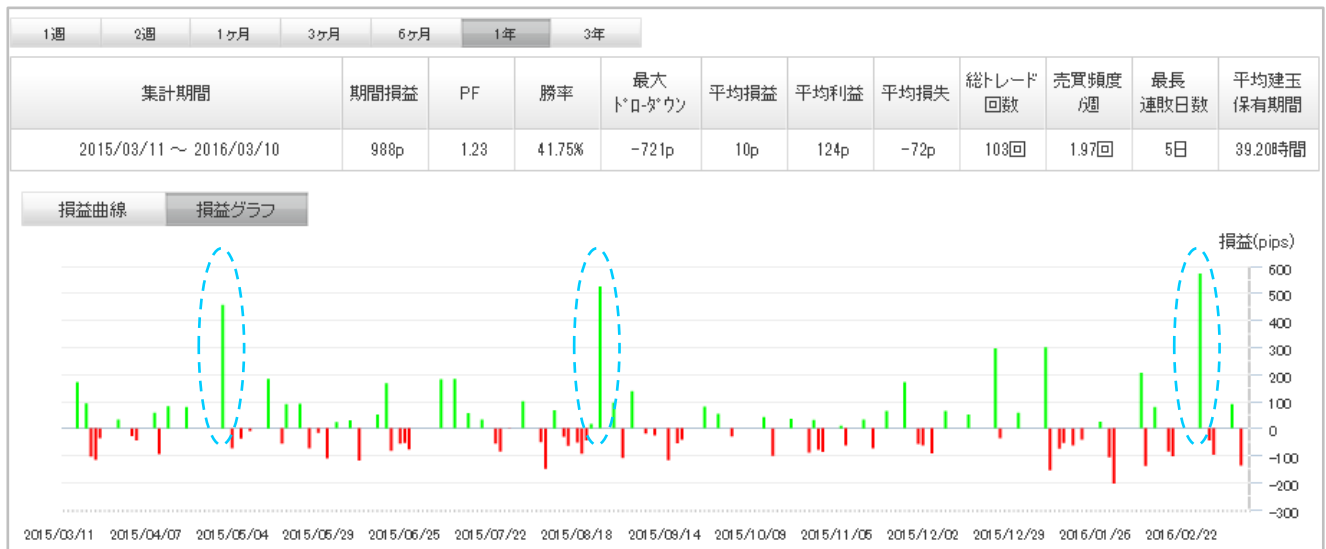
売買システム	通貨ペア	時間枠	タイプ	期間 損益	PF	勝率	最大 ドロークラウン	平均 損益	最大ホ ジション数	最長 連敗日数	損益曲線
1 カリオストロ	EUR/JPY	30分足	一発逆	1,040p	0.00	100.00%	0p	260p	2	0日	
2 ドルフアンファン	USD/JPY	30分足	一発逆	807p	11.70	50.00%	-63p	81p	5	1日	
3 一目変幻	USD/JPY	60分足	一発逆	229p	3.42	50.00%	-94p	57p	2	1日	
4 パイオニア	EUR/JPY	60分足	ダイヤル	220p	2.43	66.67%	-155p	37p	4	1日	
5 クロックトリガー	GBP/JPY	60分足	一発逆	142p	0.00	100.00%	0p	142p	1	0日	

1回のトレードにおける利食いの大きさを重視した設計です。そのため、トレンドに上手に乗れない場合は、細かい損切りが何度も繰り返し続くりスクがあります。上記の理由から長期的な勝率は悪く、年間の勝率が30%を割っているような売買システムも存在します。

しかし、1回の大きな利食いに成功した際に、それまでの損失を補い、且つ上回る利益を出すことで、運用成績を保とうとしています。

相場の方向性と利益に対する関係性は薄いと思われるので、相場観や通貨ペアにこだわらないシステム選択ができます。

▼クロックトリガー(GBP/JPY) : 1年間の損益グラフ(2015/3/11～2016/3/10)



例にある売買システムは、1回の損切りが50pips(50銭)～100pips(1円)程度になっています。しかし、500pips(5円)もの利食いになるケースも数回存在します。勝率が低いと圧倒的不利に感じますが、通算ではプラスの運用成績を残しているケースが多く見られるようです。

年に数回レベルの大幅獲得を得るためには、コツコツと負けていくことを耐えなければなりません。大きく獲得した直後にシステムを停止して、多少の負けトレードの経過を待って再稼働させるという戦略を取ることで、本来のパフォーマンス以上の成績を残すことも可能かもしれません。

一発逆転

「一発逆転」タイプの売買システムは、合計12種類が搭載されています。大幅な利食いの頻度や幅、それに対する損失の幅などを比較しながら、選定の参考にしましょう。また、運用の開始・停止を検討する場合は、そのタイミングも損益グラフから探っていきましょう。

※0以下の赤の線は負けトレード、0以上の緑の線は勝ちトレードです

▼「一発逆転」に分類されている売買システムごとの損益グラフ(1年間)

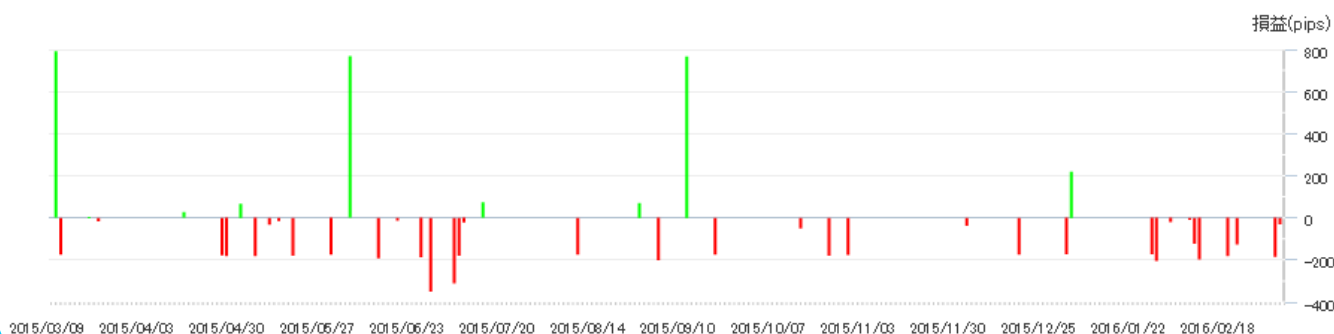
R-SINGER (EUR/JPY)・・・最大ポジション数:3

年間勝率:32%、大幅な利食い:約780pips、損失:約80pips



R-SIND (EUR/JPY)・・・最大ポジション数:5

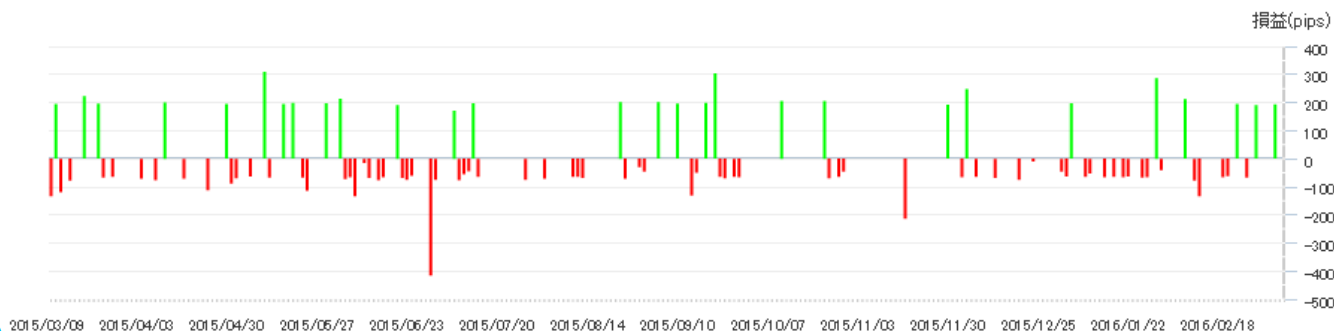
年間勝率:39%、大幅な利食い:約770pips、損失:約180pips



一発逆転

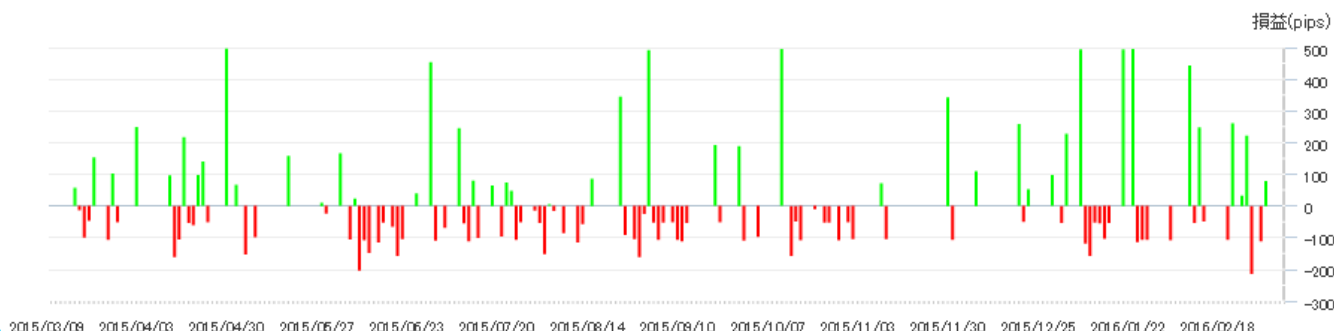
R-インドSP (EUR/JPY)・・・最大ポジション数:5

年間勝率:29%、大幅な利食い:約200pips、損失:約70pips



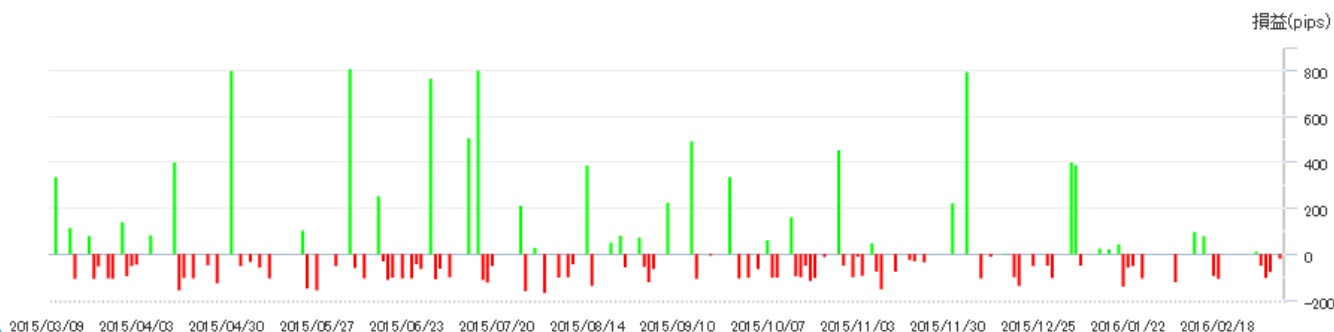
アール・スター (AUD/JPY)・・・最大ポジション数:2

年間勝率:38%、大幅な利食い:約500pips、損失:約100pips



カリオストロ (EUR/JPY)・・・最大ポジション数:2

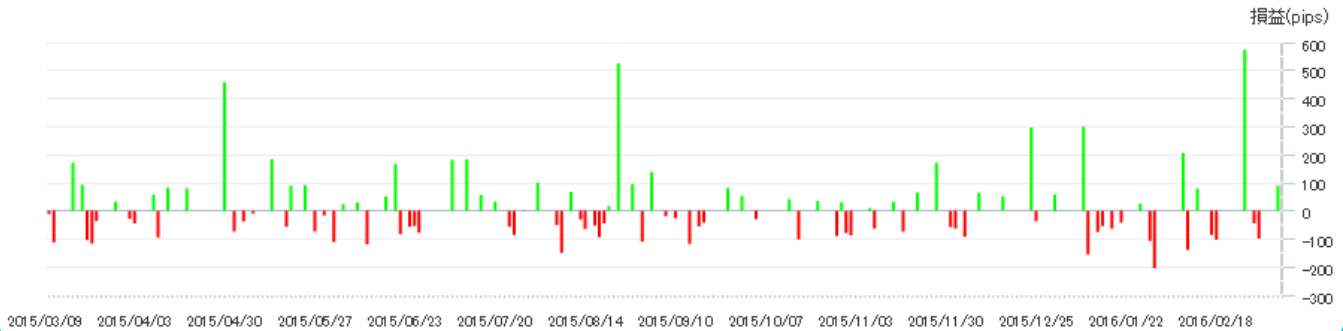
年間勝率:31%、大幅な利食い:約800pips、損失:約100pips



一発逆転

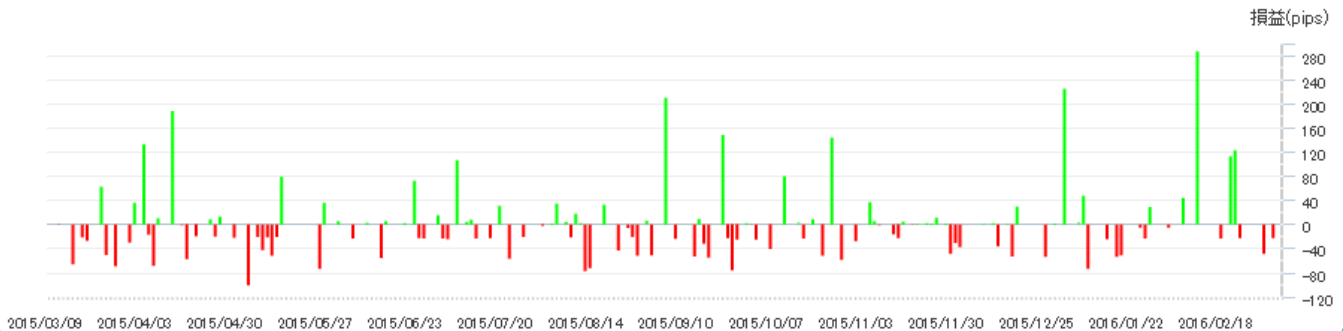
クロケットリガー(GBP/JPY)・・・最大ポジション数:1

年間勝率:41%、大幅な利食い:約400pips、損失:約80pips



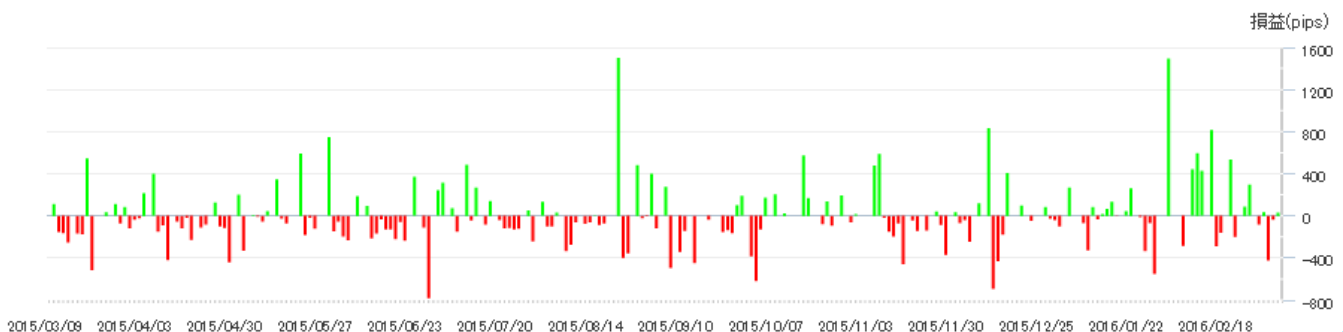
スイングチャンス(EUR/JPY)・・・最大ポジション数:1

年間勝率:41%、大幅な利食い:約200pips、損失:約60pips



ドルファンファン(USD/JPY)・・・最大ポジション数:5

年間勝率:35%、大幅な利食い:約1,500pips、損失:約400pips



一発逆転

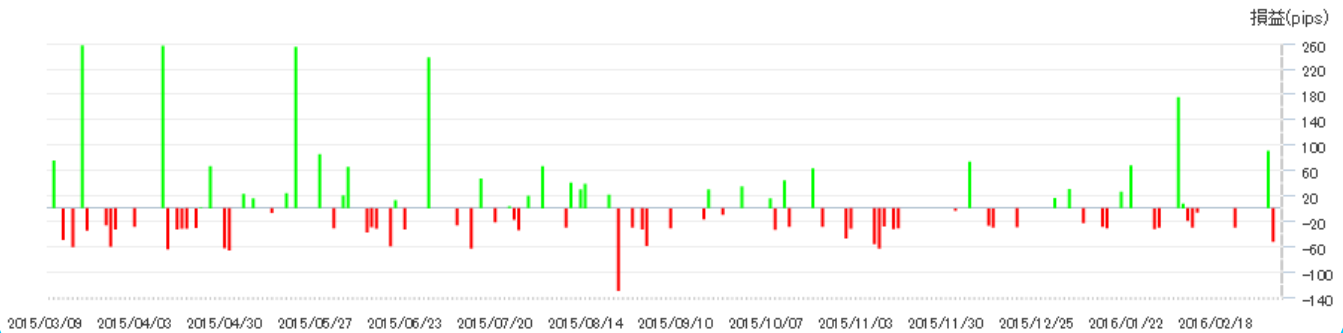
ヤーもんがー(USD/JPY)・・・最大ポジション数:1

年間勝率:33%、大幅な利食い:約600pips、損失:約50pips



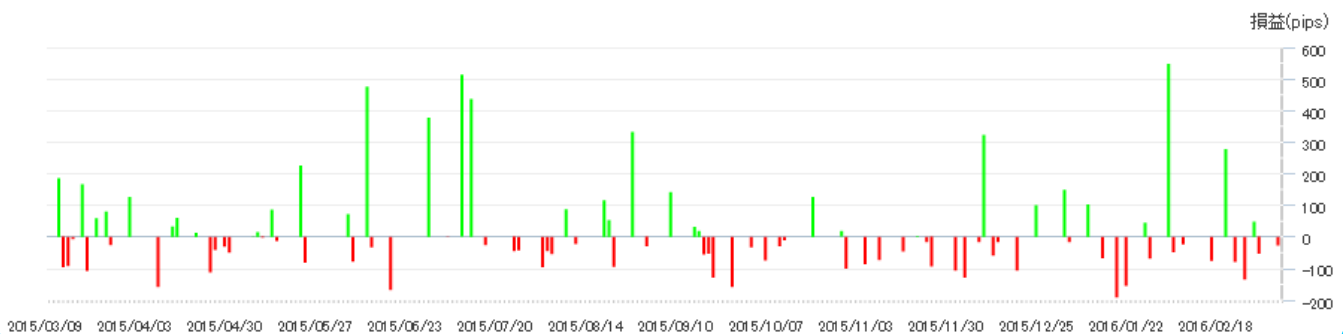
移動平均翼(EUR/USD)・・・最大ポジション数:1

年間勝率:33%、大幅な利食い:約250pips、損失:約40pips



一目変幻(USD/JPY)・・・最大ポジション数:2

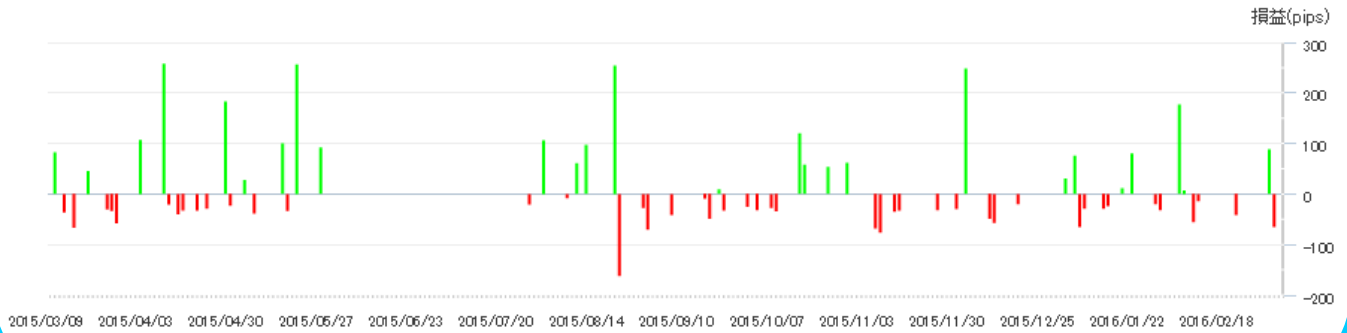
年間勝率:39%、大幅な利食い:約400pips、損失:約100pips



一発逆転

ブレイクエンジン(EUR/USD)・・・最大ポジション数:1

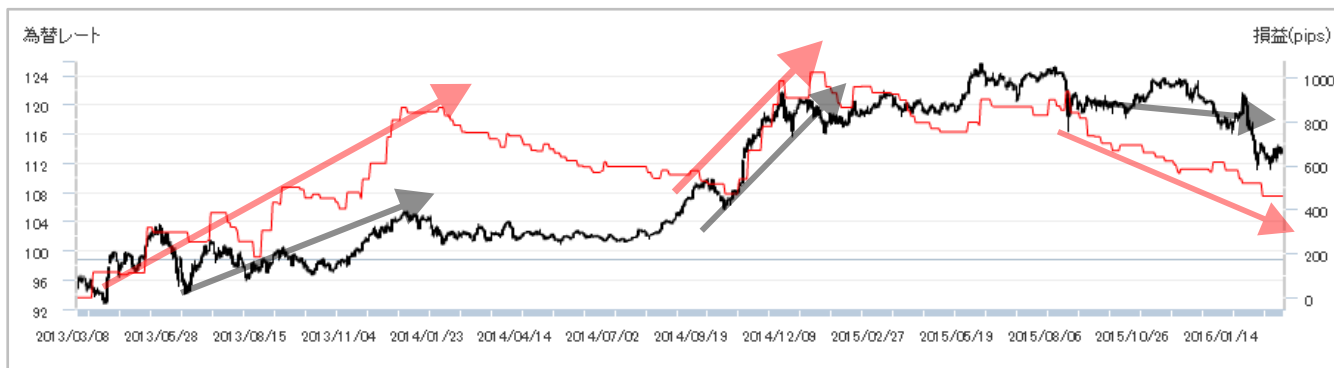
年間勝率:29%、大幅な利食い:約250pips、損失:約40pips



運用成績が各通貨ペアの上げ下げに、比較的連動していく傾向があります。基本的には順張りで、トレンドに付いていくことを目的に設計されている売買システムが多く存在します。

上記の理由から各通貨ペアに対する相場観の当たり外れが、運用成績にダイレクトに反映するケースが多く見られます。相場の方向性が定まらなると損切りが続くなどのリスクがそれにあたります。相場観や通貨ペアにこだわった選定を行いたい場合に適していると考えられます。

▼一目双眼(USD/JPY):3年間の損益曲線(2013/3/8~2016/3/7)



- 損益曲線
- 為替チャート(日足)

例にある売買システムは、USD/JPYの上昇相場に強い傾向が伺えます。しかし、レンジ相場に入ると運用成績が落ち込みやすいことも読み取れます。よって、USD/JPYの上昇が終わるときに運用の一時停止を試みるといった戦略を取ることができます。

もしくは、レンジ相場の期間が短く、再び上昇すると思えた際には、稼働させたままでも良いのかもしれませんが。

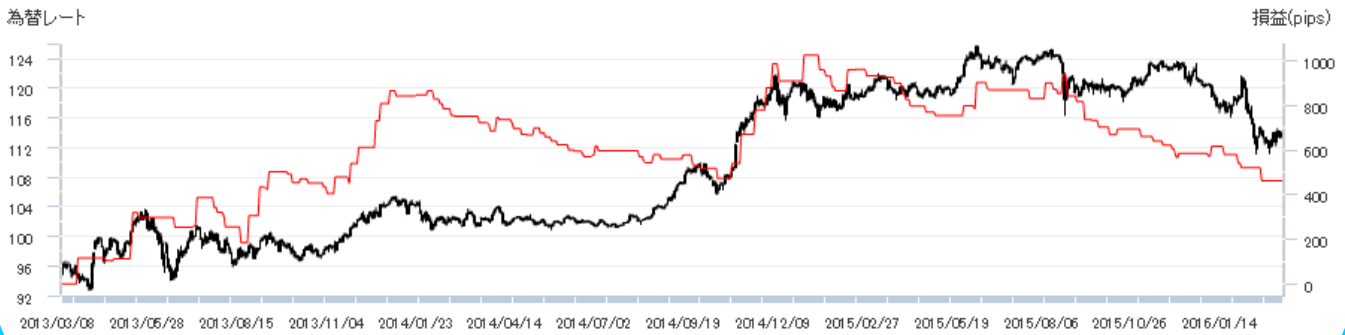
上昇だけの相場観を当てていくのは至難の業ですが、基本的には長く続くようなトレンド相場に強い傾向があるので、下落時の利益獲得も見込めます。

トレンド

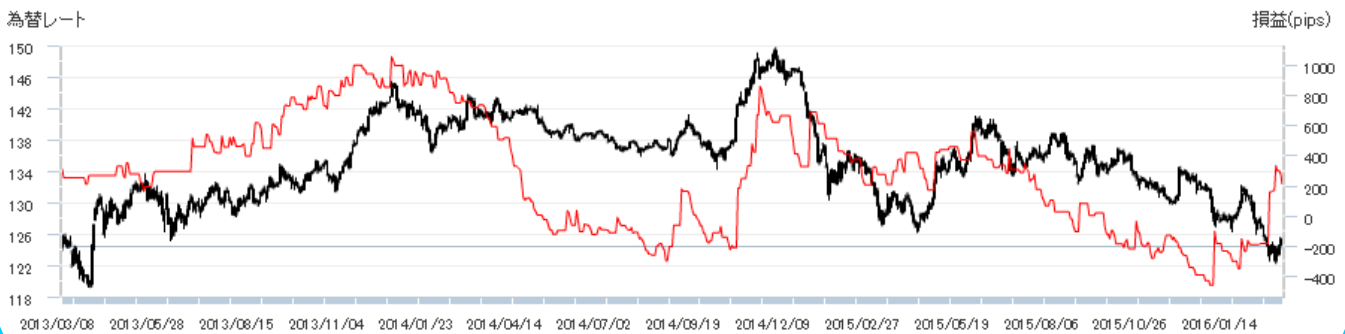
「トレンド」タイプの売買システムは、合計6種類が搭載されています。対応通貨ペアの上昇時に利益を獲得しているのか、逆に下落時に獲得しているのか、などに注目してはいかがでしょうか。また、運用の開始・停止を検討する場合は、そのタイミングを損益曲線とチャートの相関性などから探っていきましょう。

▼「トレンド」に分類されている売買システムごとの損益曲線(3年間)

一目双眼(USD/JPY)・・・最大ポジション数:1 比較的上昇時に強い傾向



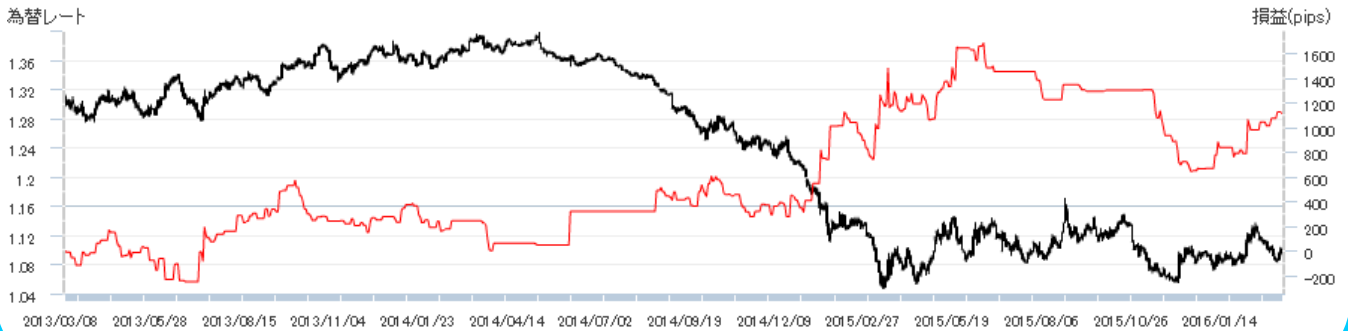
スイングギドラA(EUR/JPY)・・・最大ポジション数:1 比較的上昇時に強い傾向



トレンド

トレンドズ(EUR/USD)・・・最大ポジション数:1

比較的上昇時でも下落時でも長く続くようなトレンドに強い傾向



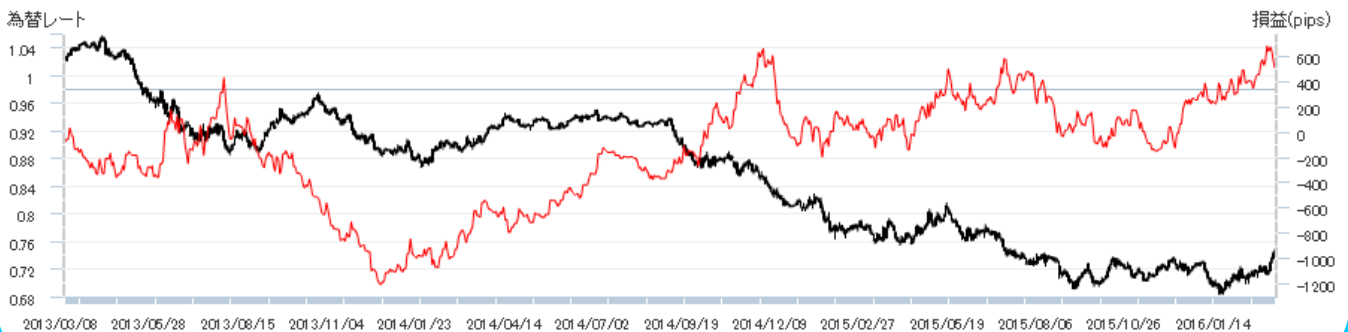
コンボ30M(AUD/JPY)・・・最大ポジション数:1

比較的AUD/JPYの動きに沿った損益になる傾向



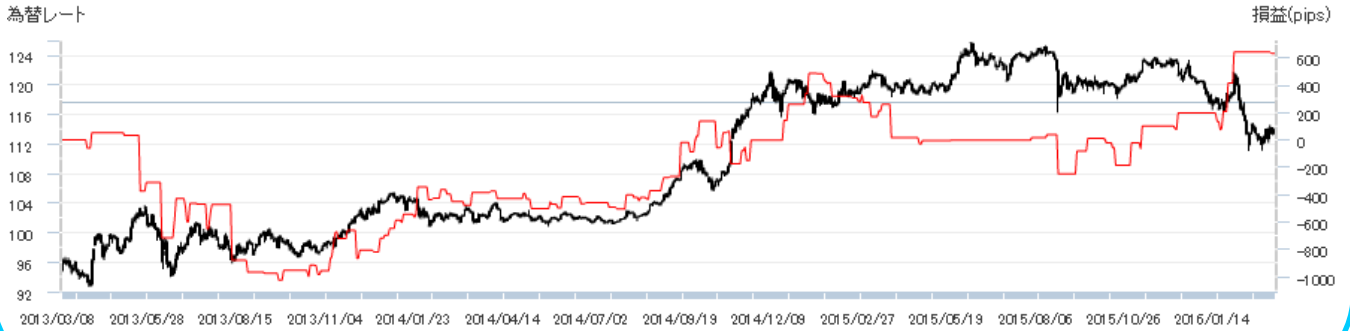
マック・スター(AUD/USD)・・・最大ポジション数:2

比較的長く続く緩やかな上昇に強い傾向



トレンド

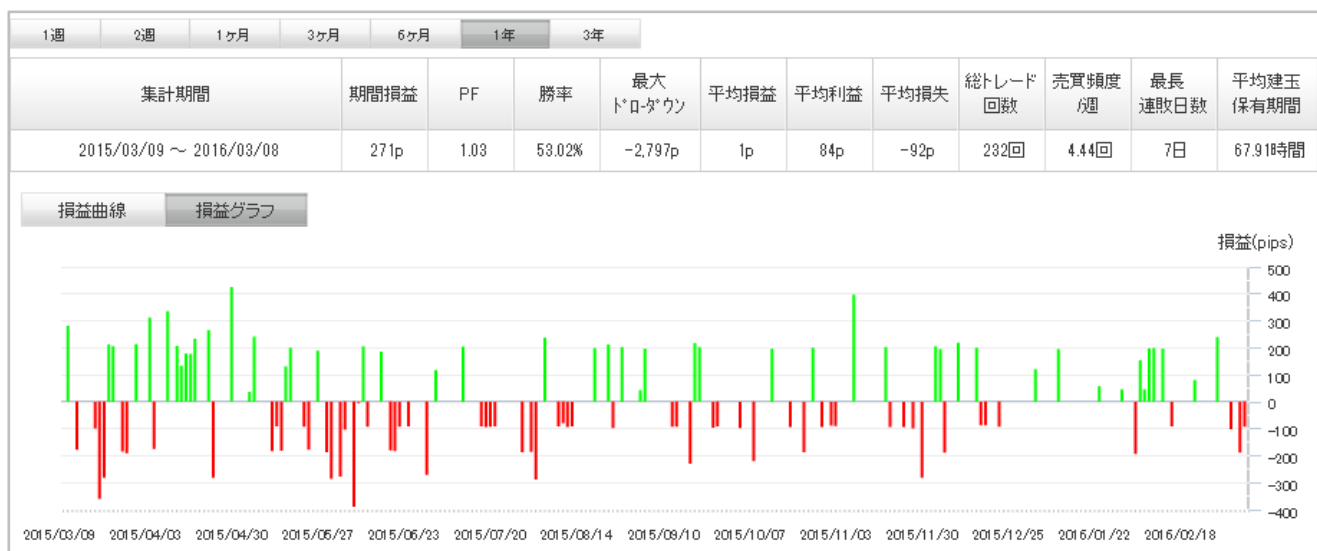
キャッシュマシーン(USD/JPY)・・・最大ポジション数:1 比較的上昇時に強い傾向



あらゆる相場局面に対応できることを目指して設計されています。
利食いや損切りのポイントが、相場の変動によって可変的な対応となるケースが多くあります。

完全なお任せ運用を目的としていますので、好調の時期は良いとしても、不調の時期に陥った際に一時停止・再開のタイミングが掴みにくいリスクがあります。
相場の方向性と利益に対する関係性は薄いと思われるので、相場観や通貨ペアにこだわらないシステム選択ができます。

▼溜めて溜めて撃つ(USD/CHF) : 1年間の損益グラフ(2015/3/9～2016/3/8)



例にある売買システムは、1回の利食いと損切りのいずれも200pips前後になっています。また、突発的に計上される大幅な利食いと大幅な損切りも同程度の幅となることを目的として設計されています。

この設計ですと±0が続くことにはなりますが、これを勝率を上げることによってカバーしようとしています。

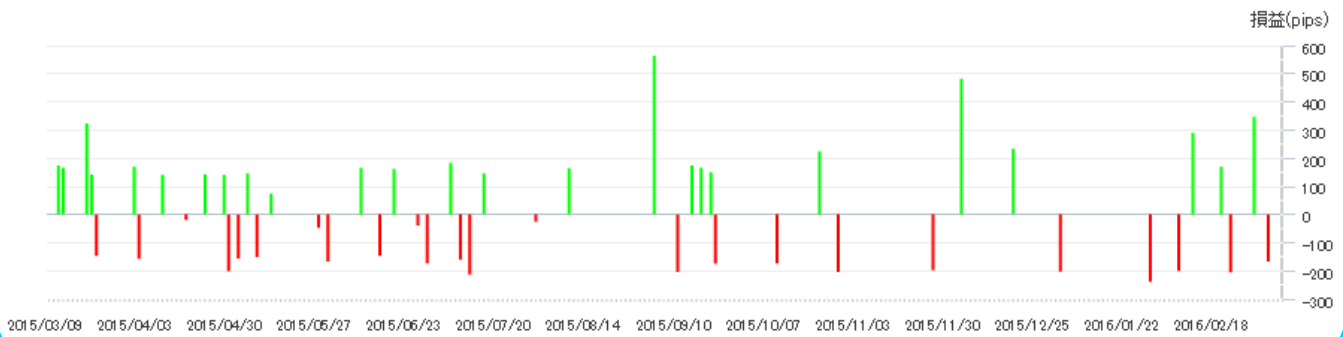
短期的な運用では連敗を喫することも考えられ、その損切り幅もやや大きめになることが想定されます。よって、中・長期的な運用により、勝率を平均化する戦略が好ましいと思われます。

オールマイティ

「オールマイティ」タイプの売買システムは、合計10種類が搭載されています。思いのほか損切りが深いシステムもありますが、同時に利食いも大幅な獲得を目指していることが多いので、中・長期的な目線で多少の損切りに耐えられるだけのご資金をご用意したうえで、運用を開始するのが良いかもしれません。

▼「オールマイティ」に分類されている売買システムごとの損益グラフ(1年間)

RSIジャンプ(EUR/JPY)・・・最大ポジション数:2
利食い・損切りの値をほぼ同等にして勝率でカバー

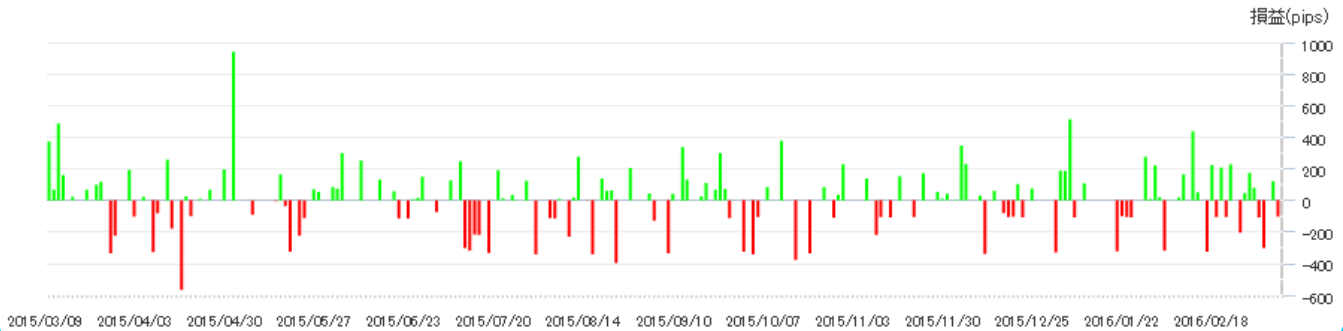


風林火山(USD/JPY)・・・最大ポジション数:1
相場変動に応じて利益・損切りのポイントを変更

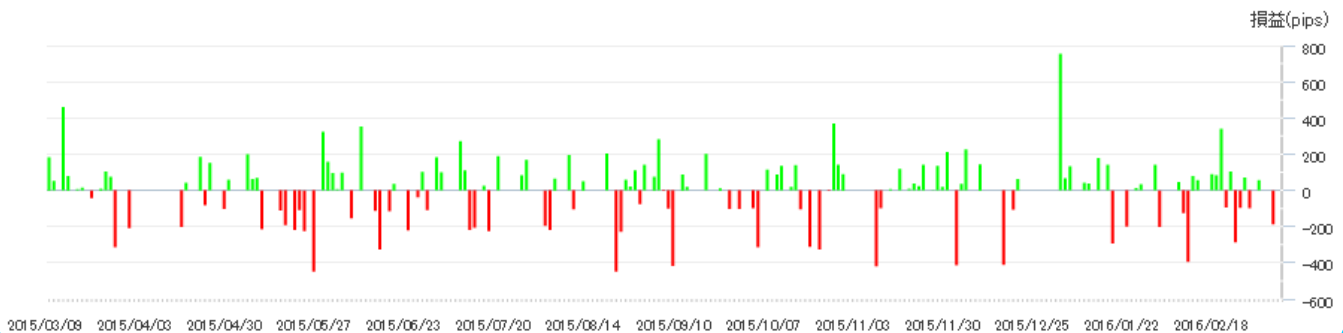


オールマイティ

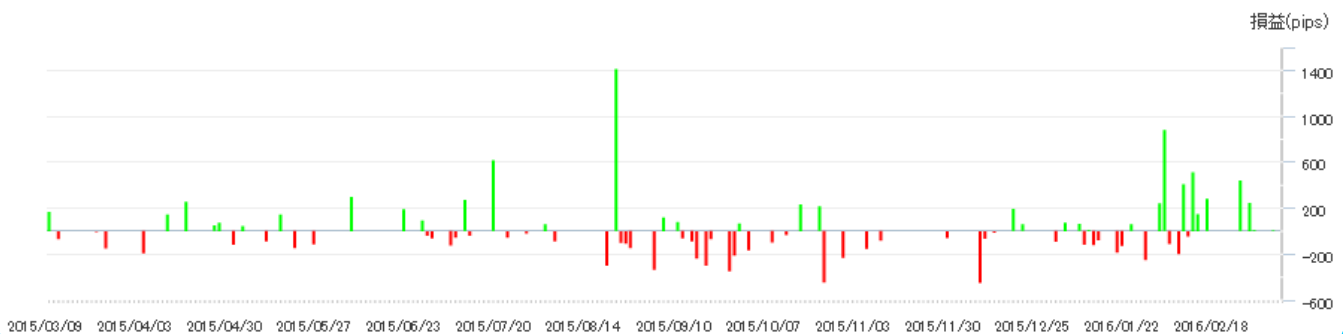
ユーロ・ブレイカー (EUR/JPY)・・・最大ポジション数: 3
ブレイクアウト戦略に利食い・損切りの値をほぼ同等にして勝率でカバー



ひつじブレイク (CHF/JPY)・・・最大ポジション数: 4
利食い1に対して損切り2の割合を目的とし勝率でカバー

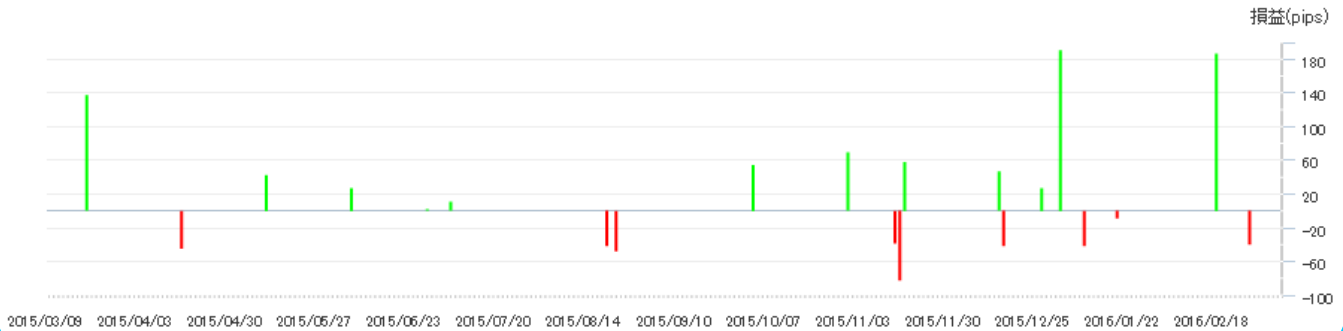


センゴク (USD/JPY)・・・最大ポジション数: 4
相場変動に応じて利益・損切りのポイントを変更



オールマイティ

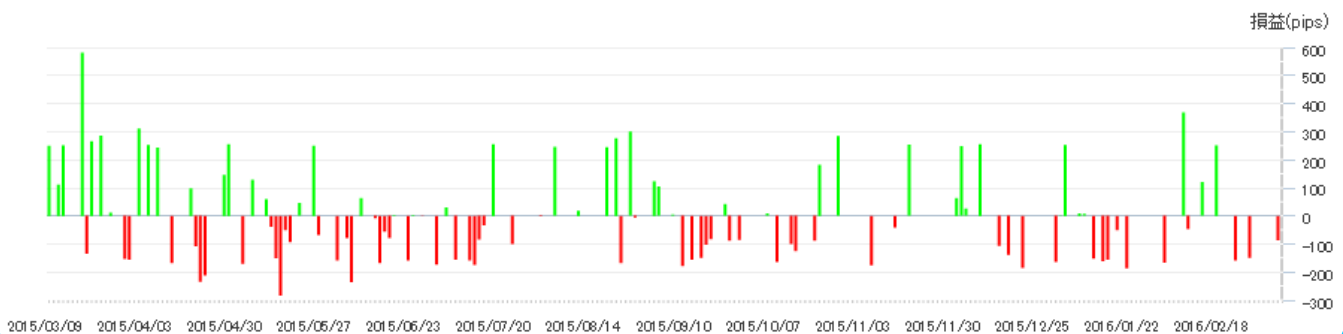
リバーサルエンジン(EUR/JPY)・・・最大ポジション数:1
相場変動に応じて利益・損切りのポイントを変更



リバーサルエンジン(EUR/GBP)・・・最大ポジション数:1
相場変動に応じて利益・損切りのポイントを変更



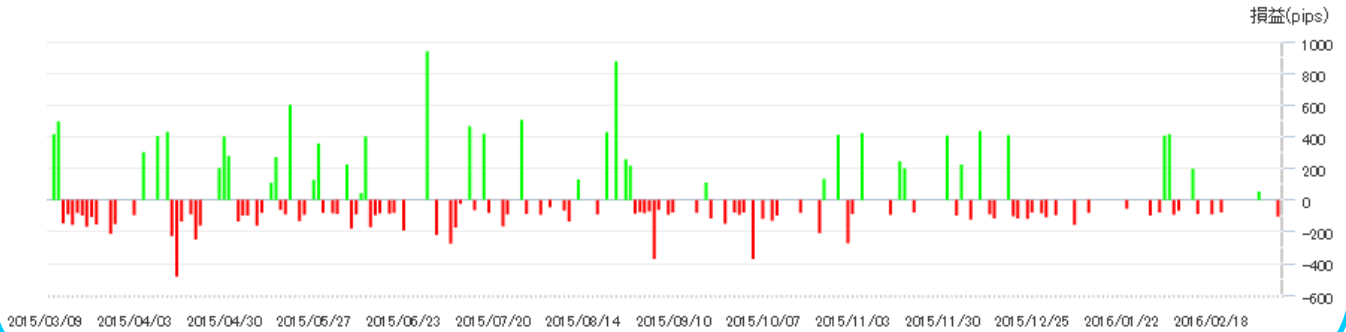
ライドズACT2(USD/CHF)・・・最大ポジション数:2
1ポジション目に利益が乗っていることを前提に2ポジション目を仕掛ける



オールマイティ

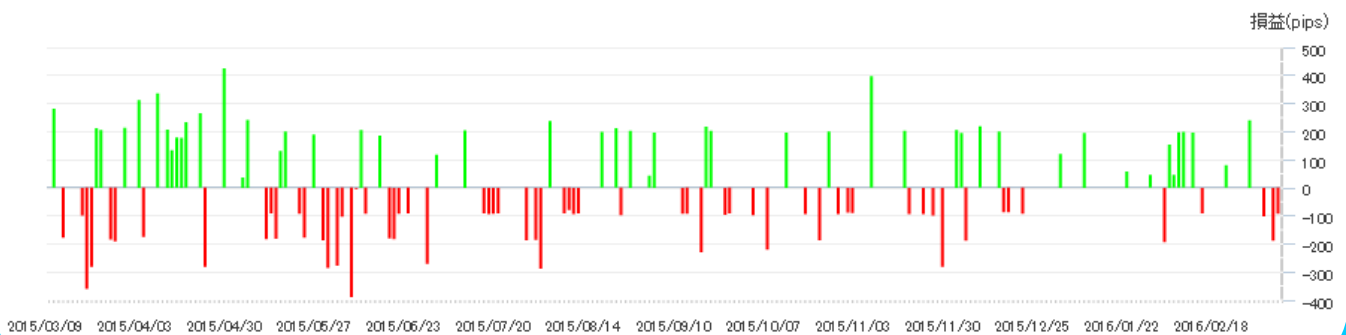
溜めて溜めて撃つ(EUR/USD)・・・最大ポジション数:4

利食い2に対して損切り1の割合を目的とし稀に出る大幅利食いと大幅損切りも同比率を目的



溜めて溜めて撃つ(USD/CHF)・・・最大ポジション数:4

利食い・損切りの値をほぼ同等にして勝率でカバー



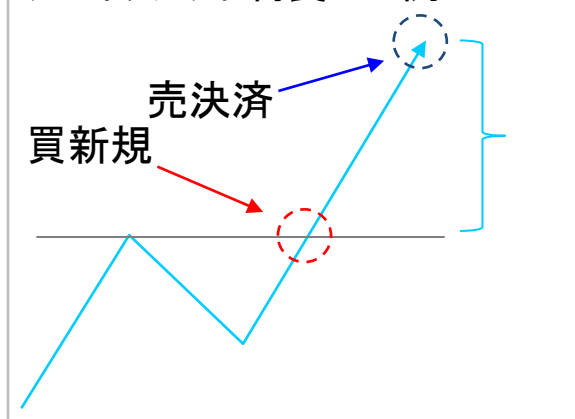
ブレイクアウト戦略を嫌った戦略であることから、アンチブレイクアウト戦略と命名されています。基本構造は、まずパターン分析によりトレンドの発生を事前に検知してエントリー（新規建て）します。その後、ブレイクアウトによるトレンドが発生すれば利益を伸ばしにいきます。トレンドが発生しない場合は、一定時間経過後および決められた設定損切り幅での決済となります。

上記ブレイクアウトに加えて、上昇局面に強いや一発逆転タイプに近いなど、その設計はバラエティに富んでいます。

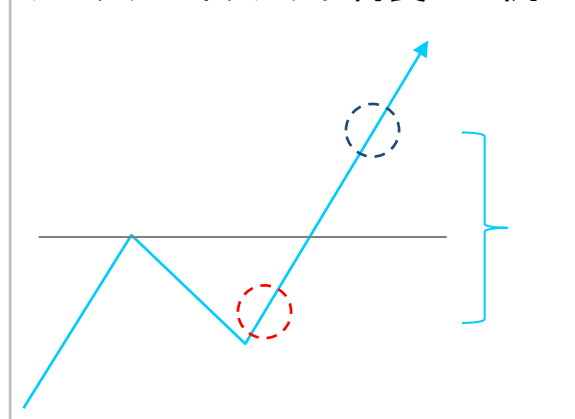
▼アンチブレイクアウト戦略のイメージ図

狙う幅が同じならば、安く買っておくことによって、高値まで追いかける必要がなくなる

ブレイクアウト利食いの例

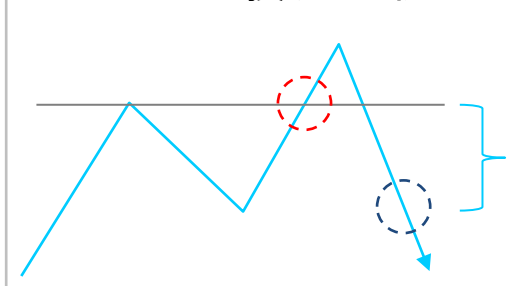


アンチブレイクアウト利食いの例

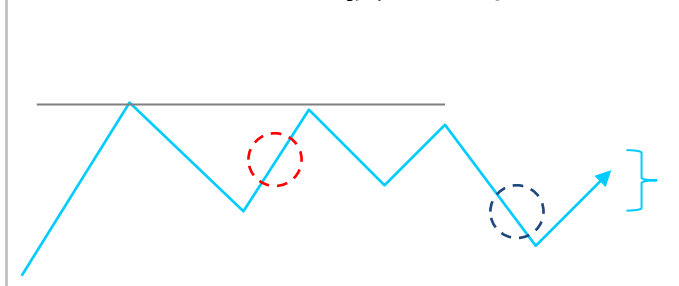


ブレイクアウト後に下げた場合より、小幅な損で済むという理論

ブレイクアウト損切りの例



アンチブレイクアウト損切りの例

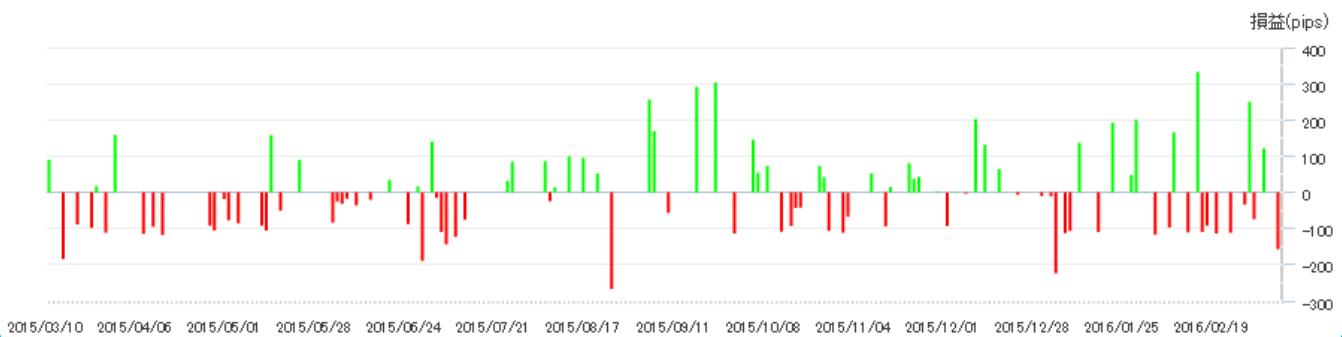


アンチブレイク

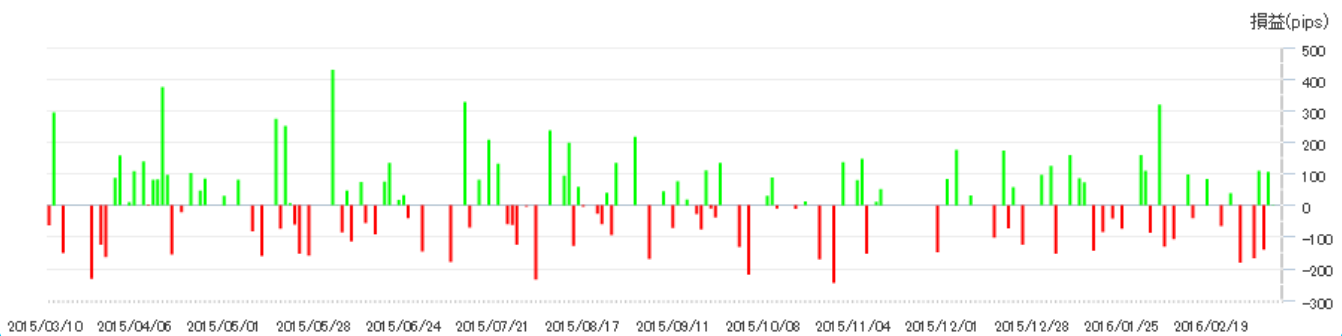
「アンチブレイク」タイプの売買システムは、合計11種類が搭載されています。決済時に反対の新規注文を出すドテン(途転)方式を採用しているシステムが多く、常時ポジションを保有している状態になりやすい傾向にあります。また、全体的に小幅なレンジ相場を苦手としている傾向があるので、手動決済の利食いなどを織り交ぜながら稼働させると、より良いパフォーマンスを得られるかもしれません。

▼「アンチブレイク」に分類されている売買システムごとの損益グラフ(1年間)

ドテンラピンク(AUD/JPY)・・・最大ポジション数:1
比較的上昇時に強い傾向



フタツモートル(EUR/USD)・・・最大ポジション数:2
順張り8逆張り2の割合で設計されている

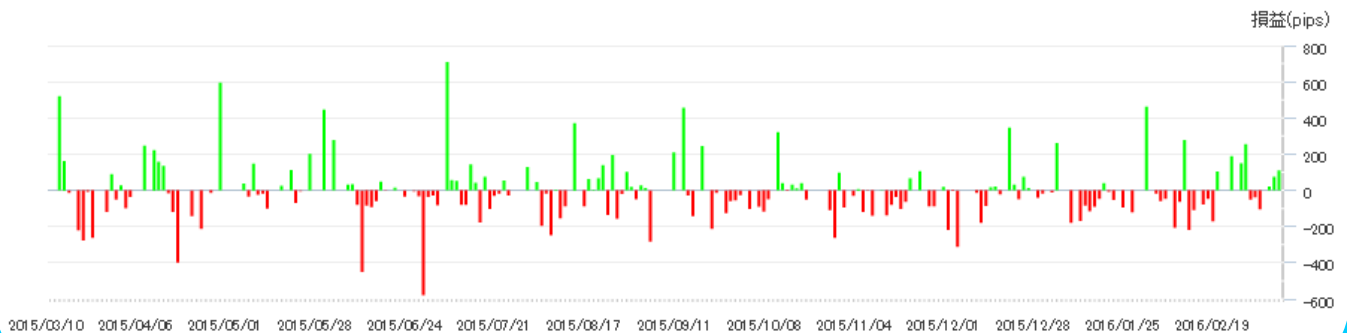


アンチブレイク

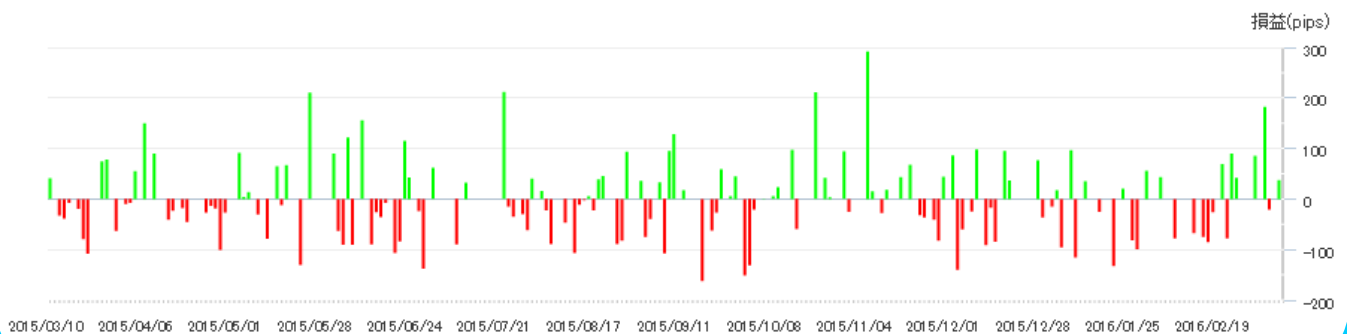
マイケルポンド(GBP/JPY)・・・最大ポジション数:5
比較的一発逆転タイプに近い設計



獣神トリガーR2(EUR/JPY)・・・最大ポジション数:2
比較的上昇時に強い傾向

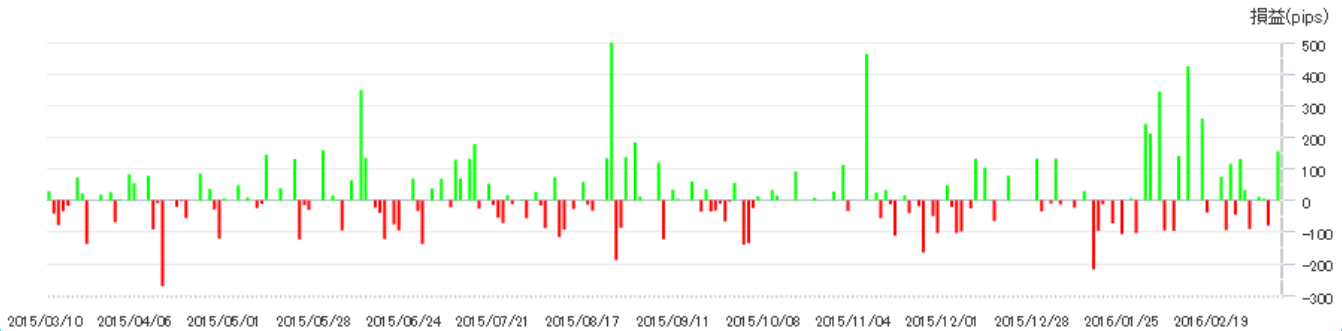


トレンドルDX2改(USD/JPY)・・・最大ポジション数:2
長く続くような上昇局面を得意とする



アンチブレイク

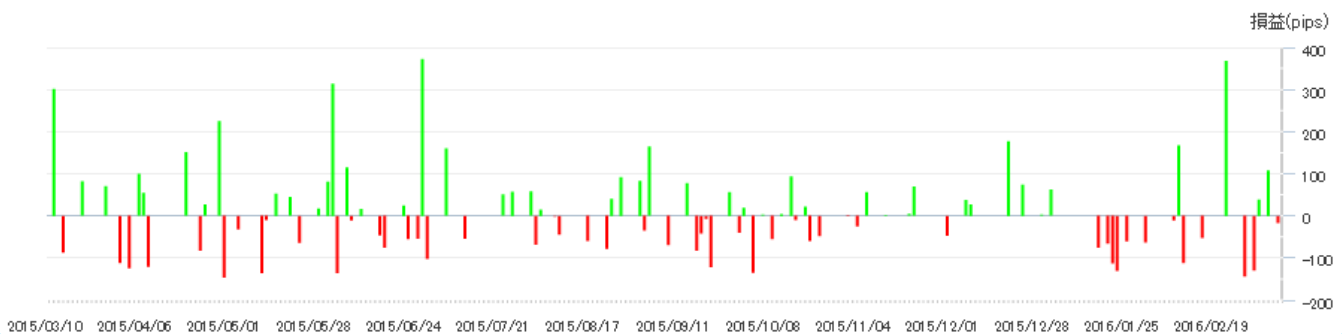
インドール(USD/JPY)・・・最大ポジション数:2
大幅に変動した後のレンジ相場を比較的得意とする



ドルザック(USD/JPY)・・・最大ポジション数:1
比較的一発逆転タイプに近い設計

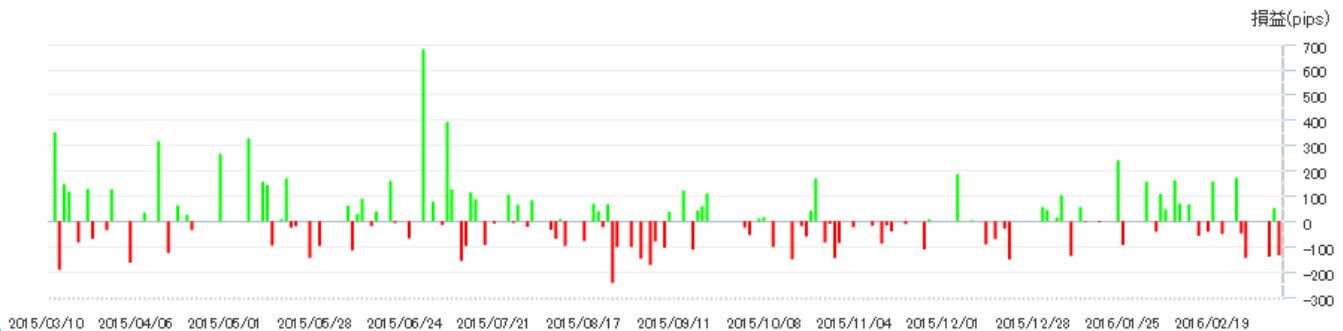


エコでしょ！(EUR/JPY)・・・最大ポジション数:1
中・長期での運用に適するように設計

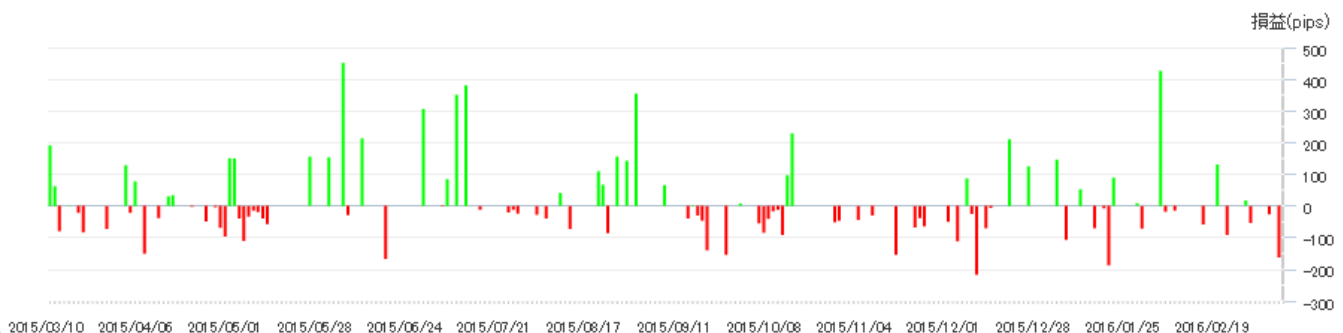


アンチブレイク

ユーロマニア(EUR/JPY)・・・最大ポジション数:1
比較的上昇時に強い傾向



フンガフンガー(USD/JPY)・・・最大ポジション数:2
中・長期での運用に適するように設計



サンフラワー(GBP/JPY)・・・最大ポジション数:5
比較的コツコツタイプに近い設計



エントリー（新規建て）から24時間以内に決済されることを目的に設計されています。※24時間以上となることも十分あります

保有時間の関係で、損失を長く引っ張ることができないため、リスク管理はしやすいかもしれません。その反面、得られる利益も限定的となるケースがほとんどです。常にトレードに区切りが付くので、売買システムの停止や入れ替えなども行いやすい利点があります。

▼デイトレーガン(EUR/USD) : 6ヶ月間の損益グラフ(2015/9/11～2016/3/10)



例にある売買システムは、デイトレタイプでありながら、1回の損切り幅が浅く、約30pips程度に設計されたタイプになります。損切り幅が浅いために、ちょっとした変動でも損切りになるケースが多いので、勝率が低くなります。

対して利食いは300pips程度まで伸ばすことを前提に設計されていますので、デイトレタイプの中でも一発逆転タイプに近い設計かと思われます。

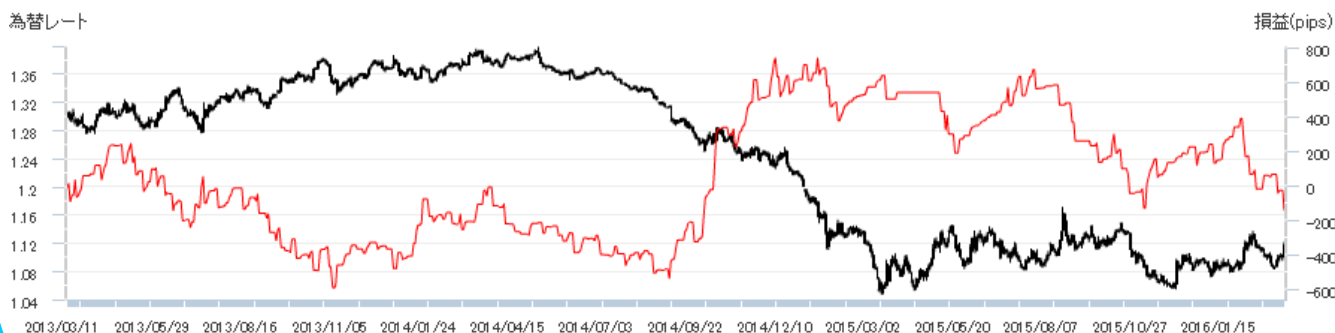
大きく獲得した直後にシステムを停止して、多少の負けトレードの経過を待つて再稼働させるという戦略を取ることで、本来のパフォーマンス以上の成績を残すことも可能かもしれません。

デイトレ

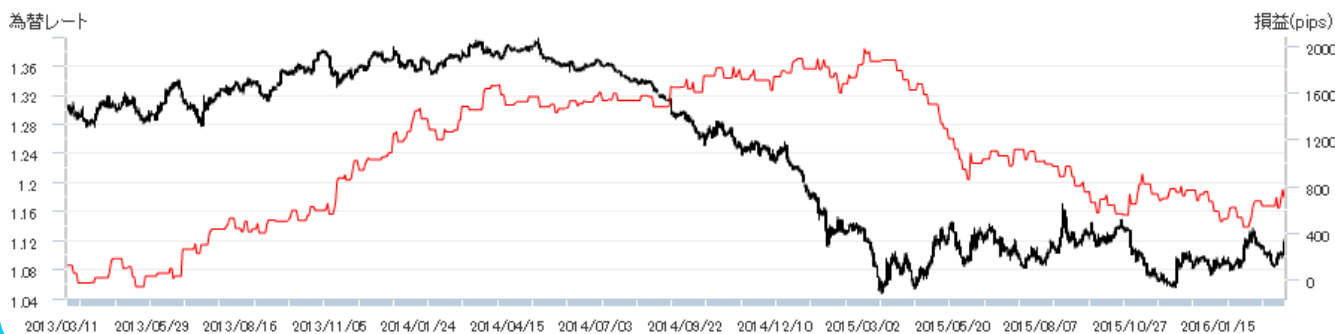
「デイトレ」タイプの売買システムは、合計12種類が搭載されています。
デイトレでありながらも最大ポジション数が複数となるシステムも存在します。その
場合、損失計上時の幅が大きくなりがちなので、勝率などを見ながら開始・一時
停止のタイミングを考えていきましょう。

▼「デイトレ」に分類されている売買システムごとの損益曲線・損益グラフ(3年間)

Zプライス(EUR/USD)・・・最大ポジション数:1 比較的下落時に強い傾向



ZプライスB型(EUR/USD)・・・最大ポジション数:1 比較的下落時に強い傾向

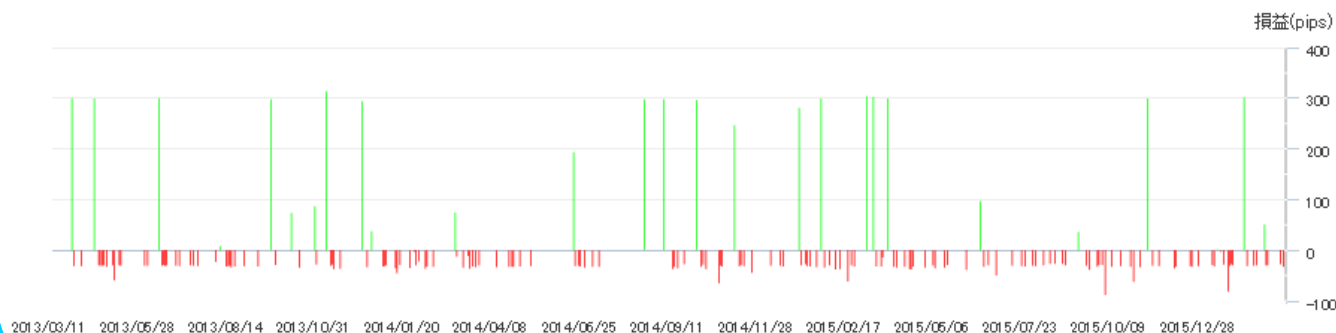


デイトレ

デルタクロス(USD/JPY)・・・最大ポジション数:1 比較的下落時に強い傾向



デイトレーガン(EUR/USD)・・・最大ポジション数:1 比較的一発逆転タイプに近い設計

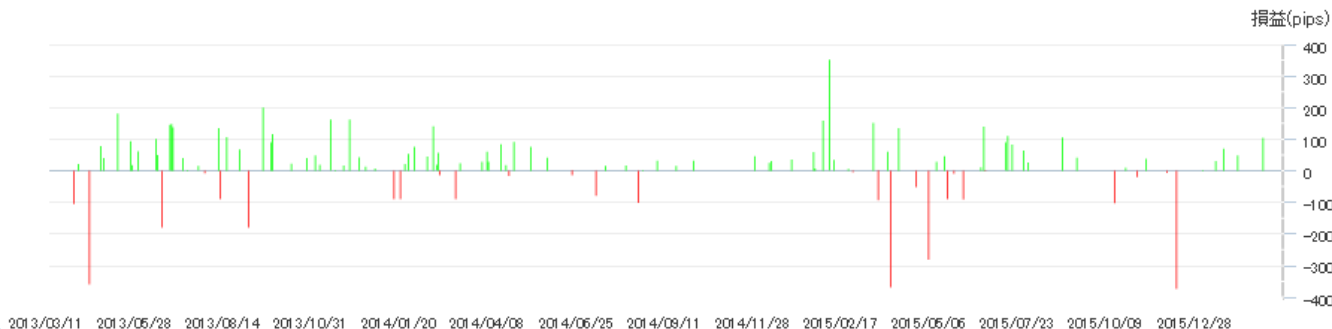


トレンド300(EUR/USD)・・・最大ポジション数:4 比較的コツコツタイプに近い設計



デイトレ

トレンド300(AUD/USD)・・・最大ポジション数:4 比較的コソコソタイプに近い設計



トレンド300SP(EUR/USD)・・・最大ポジション数:5 比較的コソコソタイプに近い設計



トレンド300SP(AUD/USD)・・・最大ポジション数:5 比較的コソコソタイプに近い設計



デイトレ

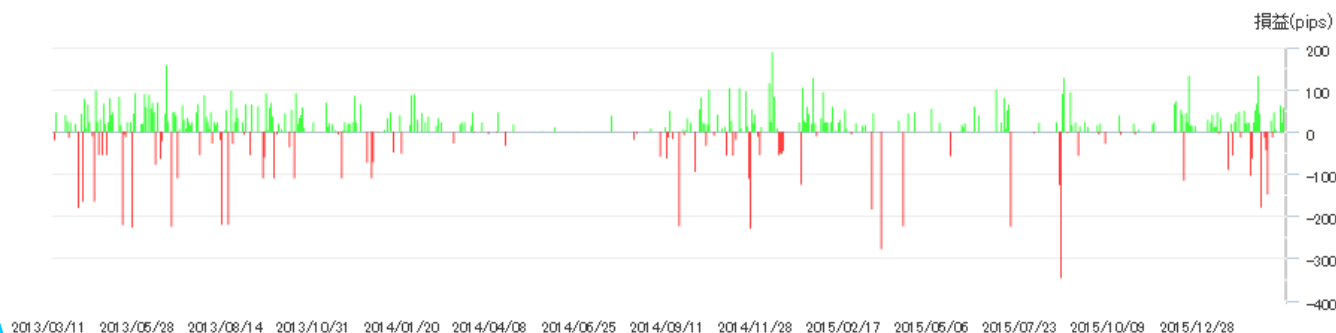
打ち出の小槌(USD/JPY)・・・最大ポジション数:3

比較的上昇時でも下落時でも長く続くようなトレンドに強い傾向



ドルストライカー(USD/JPY)・・・最大ポジション数:4

利食い1に対して損切り2の割合を目的とし勝率でカバー

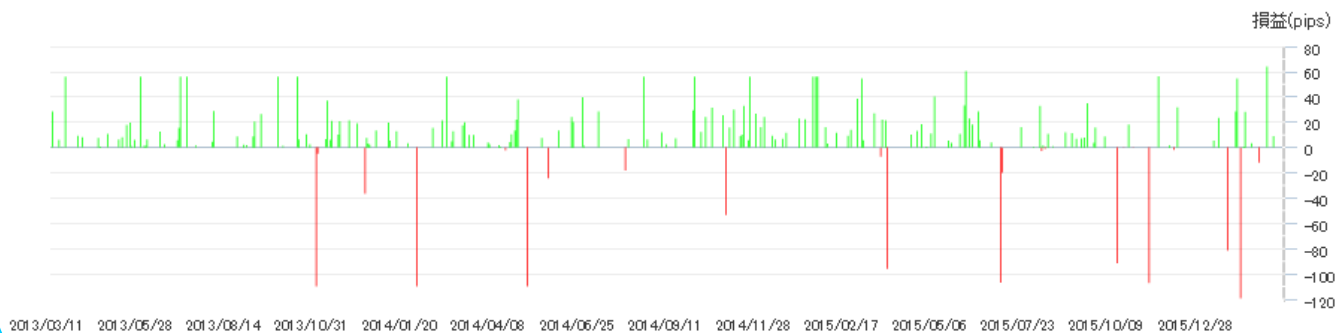


パイオニア(EUR/JPY)・・・最大ポジション数:4

比較的下落時に強い傾向



トレードウィナル(EUR/USD)・・・最大ポジション数:1 比較的コツコツタイプに近い設計



勝率を重視することで、小幅な利益をコツコツと積み上げていくことを目的に設計されています。また、勝率を重視しつつ、大幅な利益を狙った設計も存在します。いずれも共通していることは、1回の損失が、利益の数倍に達することが多いことです。それまでコツコツと積み上げてきた利益が失われてしまうため、勝率などを見ながら開始・一時停止のタイミングを考えていきましょう。

▼ EMAロスマス(USD/JPY) : 1年間の損益グラフ(2015/3/11～2016/3/10)



例にある売買システムは、勝率を重視しながら10pips程度の小幅な利益をコツコツ積み上げるタイプです。しかし、1回の損失は最大で200pips近くにもなることから、連勝後には一時停止を試みる工夫があると良さそうです。

また、稼働再開時期は、損切りのトレードが出現した後などが狙い目となりそうです。

獲得利益が少ないので、単体での運用にこだわらず、複数の売買システムと並行して稼働させる方が良いかもしれません。

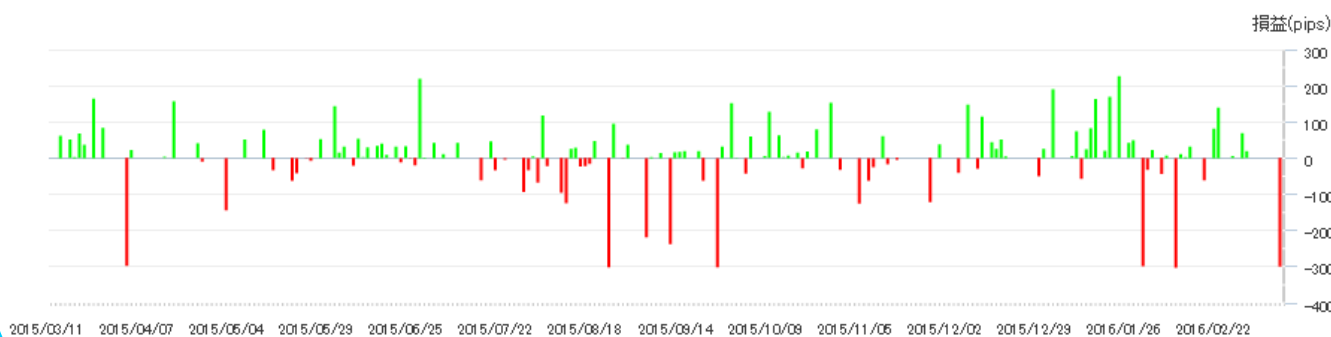
コツコツ

「コツコツ」タイプの売買システムは、合計9種類が搭載されています。
1回の損失が大きいものばかりなので、運用開始後に単に放置をしたままといった運用は、あまりおススメできません。

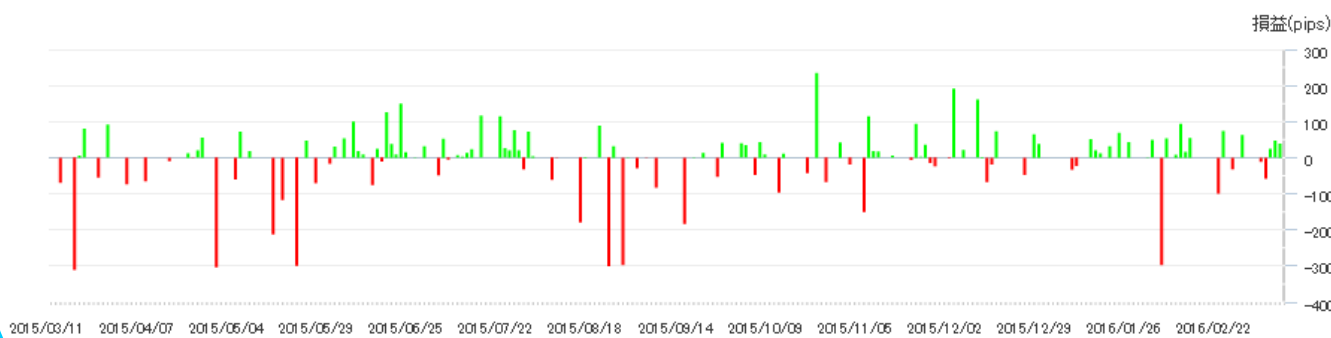
しかし、勝率を重視した設計だけに、稼働のタイミングとしては、大幅に損失を計上した後など、計り易いことがポイントです。場合によっては、手動決済による損切りも戦略として織り交ぜていきましょう。

▼「コツコツ」に分類されている売買システムごとの損益曲線・損益グラフ(1年間)

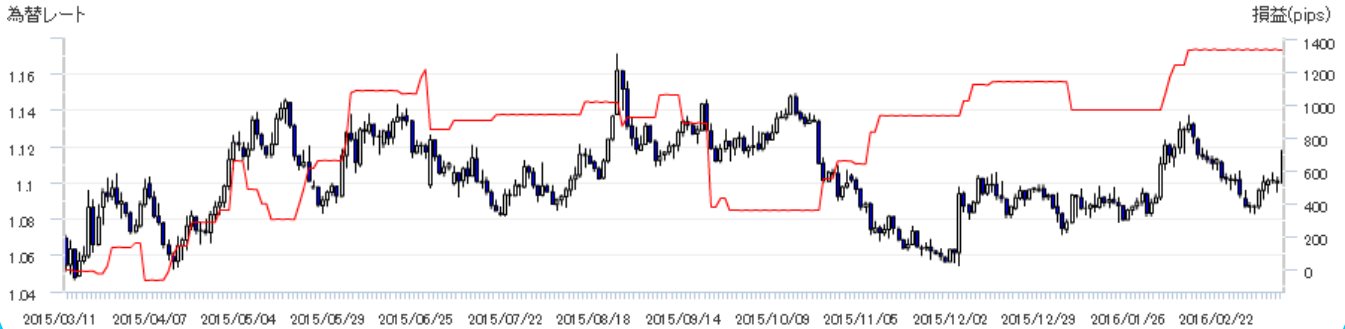
MAマスター II S (AUD/JPY)・・・最大ポジション数:1
ポジション保有時間が長い時ほど大幅な損失になる傾向



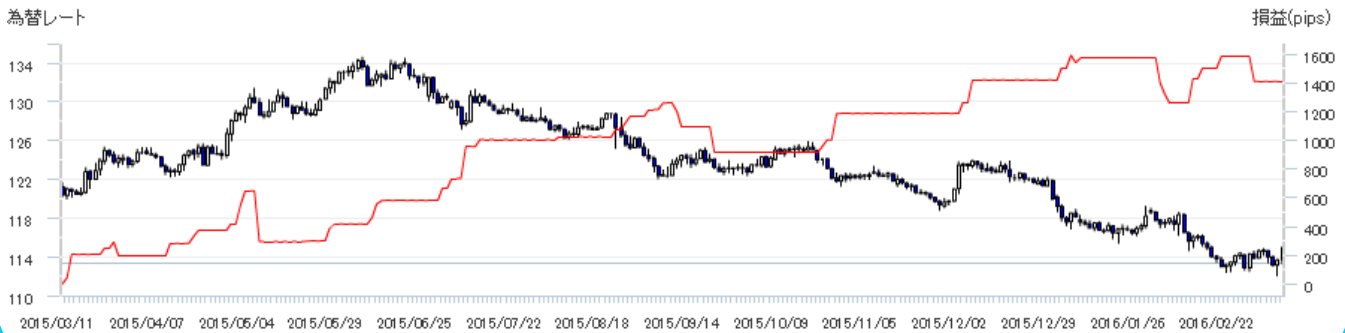
MAマスター II S (EUR/USD)・・・最大ポジション数:1
ポジション保有時間が長い時ほど大幅な損失になる傾向



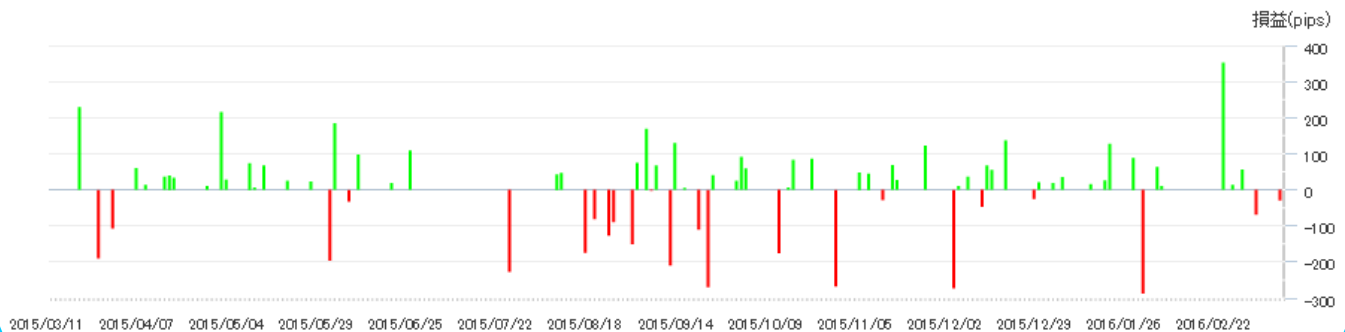
スイングマン(EUR/USD)・・・最大ポジション数:4 比較的トレンドタイプに近い設計



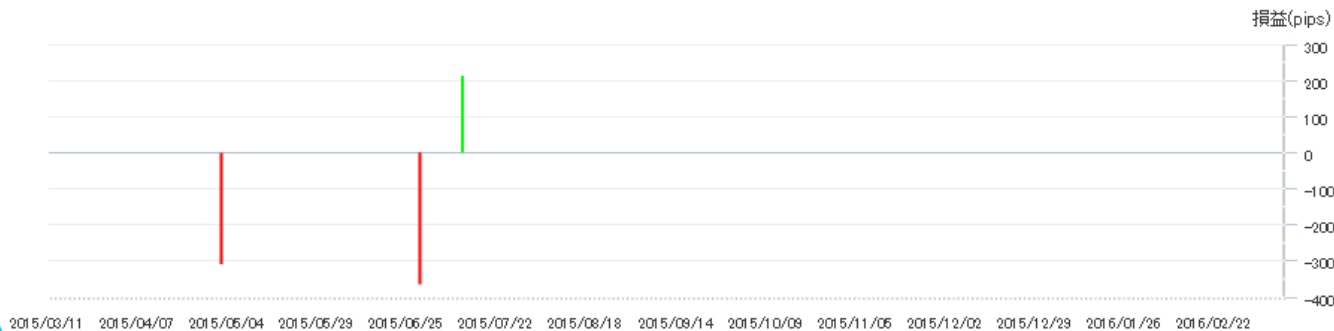
スイングマン(CHF/JPY)・・・最大ポジション数:4 比較的トレンドタイプに近い設計



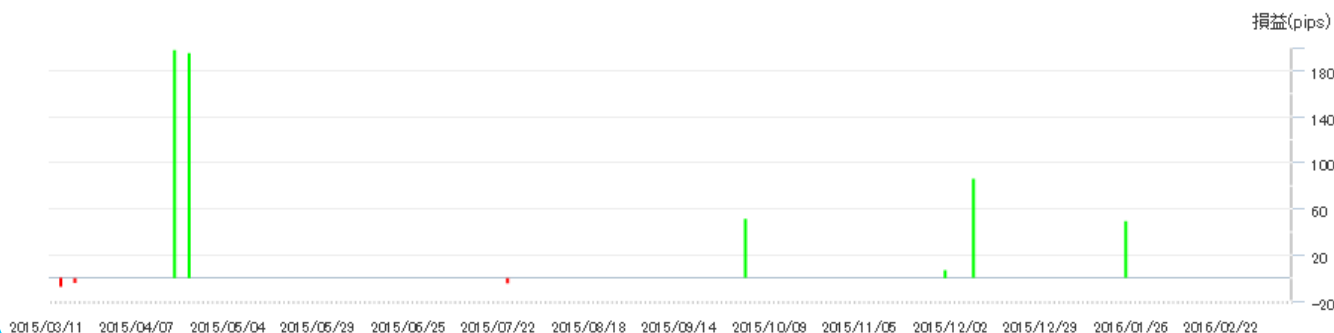
パシビアトレーダ(EUR/JPY)・・・最大ポジション数:1 利食い1に対して損切り2の割合を目的とし勝率でカバー



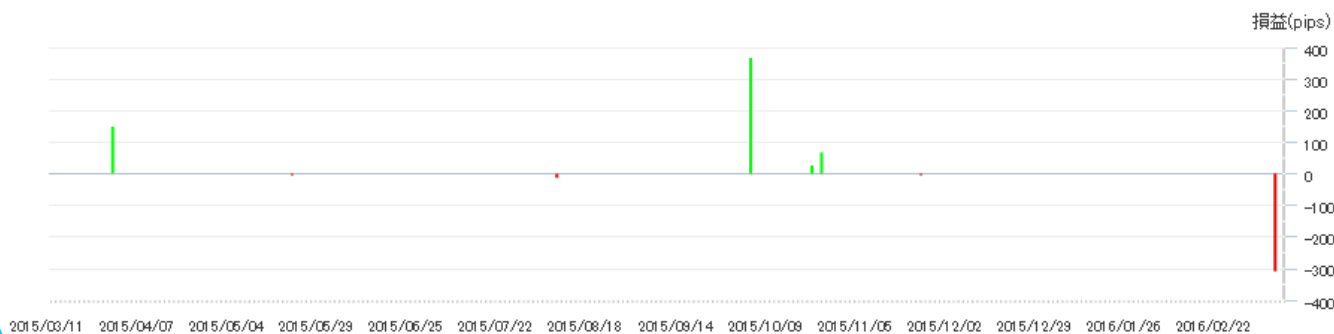
ひかえめピーナス(EUR/JPY)・・・最大ポジション数:4 売買頻度が極端に少ない設計



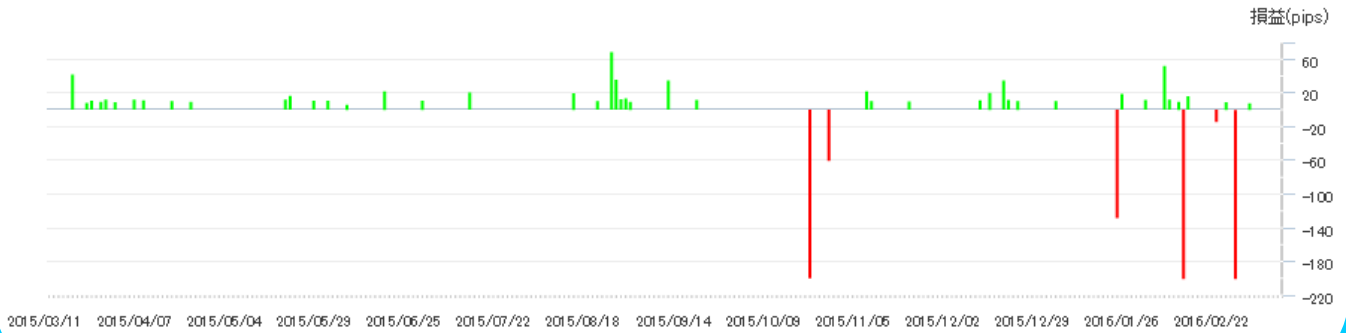
ひかえめピーナス(AUD/USD)・・・最大ポジション数:4 売買頻度が極端に少ない設計



ひかえめピーナス(USD/CAD)・・・最大ポジション数:4 売買頻度が極端に少ない設計



EMA口ミス(USD/JPY)・・・最大ポジション数:1 突発的な動きに対して逆張りで仕掛ける傾向



ループ・イフダンシリーズは、売買システム名から売買ルールが把握できるように考えられています。一定の値幅ごとに売り買いを繰り返し、利益を出したポジションをコツコツと決済していく売買システムです。売買システム名には、必ず「ループ・イフダン」の文字が付きます。

▼売買システム名から売買ルールを理解する

ループ・イフダン**B30****30**

BUYの略

新規の注文は買いのみ行う
(決済は売りのみとなる)

前回のシグナルから
30pips(30銭)の変動で
新規注文を行う

新規約定から30pips(30銭)の利益が貯まると決済注文を行う

ループ・イフダン**S100****100**

SELLの略

新規の注文を売りのみ行う(決済は買いのみとなる)

前回のシグナルから
100pips(1円)の変動で
新規注文を行う

新規約定から100pips(1円)の利益が貯まると決済注文を行う

Bシリーズを運用した場合、設定されたpipsの変動があると新規の買い注文を出し、その新規約定から設定pipsの利益が貯まると利益確定の決済注文が出されます。同じレンジ内での往復があれば、その都度新規と決済が自動的に繰り返されます。

Sシリーズは上記の逆となります。

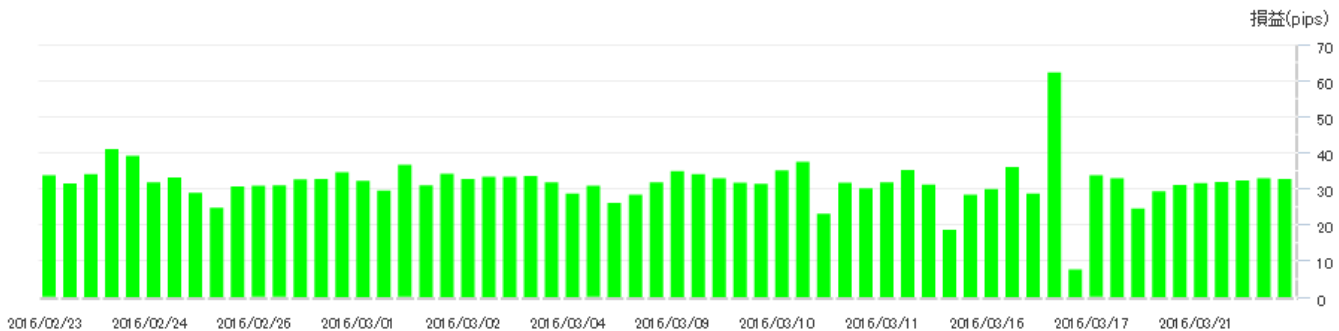
ループ

「ループ」タイプの売買システムは、合計26種類が搭載されています。
相場の変動幅によって、取引証拠金が多く必要となりますので、単品での運用が
好ましいと思えます。

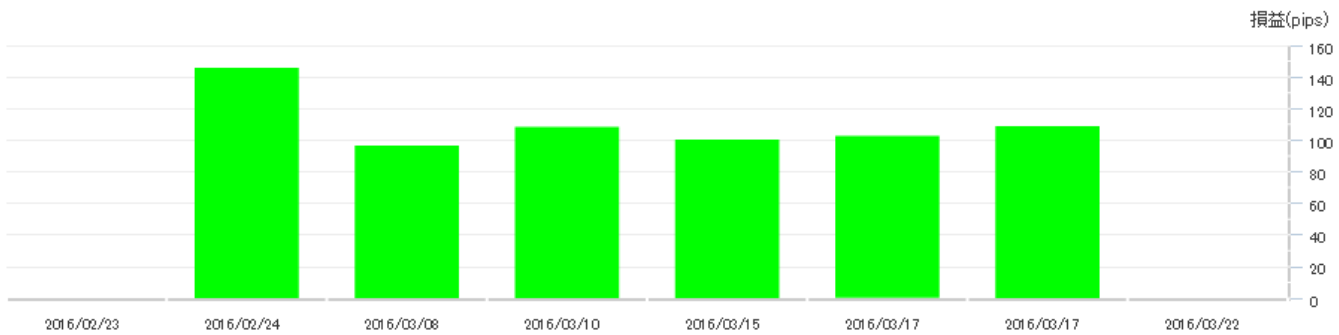
いわゆる難平(ナンピン)トレードになりますので、目安資金一覧表を参考にしな
がら、ゆとりある資金での運用が肝要です。

▼「ループ」に分類されている売買システム(2例のみ)ごとの損益グラフ(1ヶ月間)

ループ・イフダンB30_30(USD/JPY)・・・最大ポジション数:∞(無制限)
一定値幅ごとの売買を繰り返す設計



ループ・イフダンS100_100(USD/JPY)・・・最大ポジション数:∞(無制限)
一定値幅ごとの売買を繰り返す設計



売買システムにおける注意事項

集計期間が1年以上の損益曲線および損益グラフは、1日単位でのトレード結果を表示しています。

集計期間が6ヶ月間以下の損益曲線および損益グラフは、1トレード単位でのトレード結果を表示しています。

各売買システムの売買ルールは、売買システム製作者より開示されたコンセプトであり、必ずしも記載通りに取引が行われることを当社が保証するものではありません。

売買システムには、レートを指定して注文を発注するシステムもありますが、実際の処理は成行注文で行われます。その為、相場状況によってスリッページが生じる場合があります、設定の利食い値は保証されたものではありません。

レートの変動によっては、お客様の想定以上の時間と資金が必要になるケースがあります。

記載の運用成績は、運用の途中でロスカット(強制決済)が行われないことが前提となります。

表示されている運用成績には、助言手数料およびスワップポイント、保有中の評価損益は含まれておりません。

1ポジションあたりの目安最大損失は、流動性などの影響で超える場合もあります。

最低必要証拠金は、リアルタイムでは変化しません。

最低必要証拠金の基準となるレートは、朝のメンテナンス時間を境に切り替わります。

エコトレFX利用規約

第1条 規約の適用

この規約(以下、「本規約」という。)は、ひまわり証券株式会社(本社:東京都港区、以下、「当社」)が開発し提供する、店頭外国為替証拠金取引(以下、「店頭FX取引」という。)の自動売買サービス、エコトレFX(以下、「本サービス」という。)の利用に関する規約です。※エコトレFXの利用にあたっては別途投資顧問契約の締結が必要となります。

2 当社が、本サービスを利用する者(以下、「利用者」という。)に対して発する第3条所定の通知は本規約の一部を構成するものとします。

第2条 規約の変更

当社は、利用者の了解を得ることなく本規約を変更することがあります。この場合に、本サービスの利用条件は、変更後の利用規約によるものを適用します。

2 本規約は、本サービス上に表示した時点より、効力を生じるものとします。

第3条 通知義務

当社は、本サービス上での提示や電子メールの送付、その他当社が適当と判断する方法により、利用者に対し随時必要な事項を通知します。

2 前項の通知は、当社が当該通知を本サービス上又は電子メールで行った場合は、本サービス上での提示、又は電子メールの発信が完了した時点より効力を発するものとします。

第4条 利用者における注意事項

当社は、本サービスについてその内容や利益を保証するものではありません。また、本サービスを利用した店頭FX取引に際しては、利用者自身の責任で行うものとします。

2 複数の売買システムを組み合わせるにより、発生する損失(ドロウダウン)が、単数運用時のそれよりも大きくなることも想定されますのでご注意ください。また、運用に係る証拠金は、単数運用時よりも多く必要となります。

3 利用者は、本規約を承諾し、自己の費用と責任において本サービスを利用しているものとし、同様に通信機器・ソフトウェア・公衆回線など利用者側設備として必要なものを全てを用意するものとします。

第5条 サービス概要

本サービスをご利用いただく際には、別途投資顧問契約に基づく助言手数料が発生します。なお、インターネットの接続等の費用(プロバイダー料金、携帯端末のパケット料金など)は利用者が負担するものとします。

2 本サービスを利用するにあたり、メールアドレスなどの個人情報を登録する必要があります。当社に提供された個人情報は、第9条(個人情報の保護)を遵守して管理、運用します。

第6条 禁止事項

利用者は、本サービスを利用して、次の行為(以下、「禁止行為」)を行わないものとします。

禁止行為を行った場合、当社はその利用者の以後の本サービスの利用を禁止する場合があります。

- ① 他の利用者又は第三者、若しくは当社の著作権、商標権などの知的財産権を侵害する行為、又は侵害するおそれのある行為
- ② 他の利用者又は第三者、若しくは当社を差別若しくは誹謗中傷し、又は名誉若しくは信用を傷つける行為
- ③ 他の利用者又は第三者、若しくは当社の財産、プライバシー、肖像権若しくはパブリシティ権を侵害する行為、又は侵害するおそれのある行為
- ④ 他の利用者又は第三者、若しくは当社に対して無断で広告・宣伝・勧誘などの電子メールを送信する行為、又は受信者が嫌悪感を抱く電子メール等を送信する行為、他者の電子メール等の受信を妨害する行為、連鎖的な電子メール等の転送を依頼する行為及び当該依頼に応じて転送する行為
- ⑤ 他の利用者又は第三者になりすまして、本サービスを利用する行為
- ⑥ 本サービスに接続されている他のコンピュータ・システム又はネットワークへの不正アクセスを試みる行為
- ⑦ その他、当社が不適切と判断した行為

第7条 本サービス提供の中断

当社は、次のいずれかに該当する場合には、利用者に事前に通知することなく、本サービスの提供を一時的に中断することがあります。

エコトレFX利用規約

- ① 本サービスの提供に関わるハードウェアおよびソフトウェア等（以下、本サービス用設備）のメンテナンスのため、やむを得ない場合
- ② 本サービス用設備に障害が発生し、やむを得ない場合
- ③ 第一種電気通信事業者又はその他の電気通信事業者の提供する電気通信役務に起因して電気通信サービスの利用が不能になった場合
- ④ その他、運用上又は技術上当社が本サービスの一時的中断が必要と判断した場合

第8条 本サービスの終了

当社は、相当の周知期間をもって利用者に通知の上、利用者に対する本サービス及び本サービスの一部を終了することができます。

2 前項の通知は、本サービス上での提示及び電子メールの送付によるものとし、その通知の効力は第3条の定めによります。

3 当社は第1項の方法による利用者に対する通知の後、本サービスを終了した場合には、利用者に対して本サービスの終了に伴い生じる損害、損失、その他の費用の賠償又は補償を免れるものとします。

4 本サービス終了時点において、本サービスを経由して発注されたポジションが保有中であった場合、当社でポジションを決済する場合があります。

第9条 個人情報の保護

当社は個人情報を適切に保護し、当社が別途当社サイト上に掲示するプライバシーポリシーを遵守します。

第10条 免責事項

当社は、本サービスの利用によって利用者が被った損害又は損失などについては、一切の責任を負わないものとします。

2 当社は、本サービスの利用に際して、第2条（規約の変更）、第7条（本サービス提供の中断）、及び第8条（本サービスの終了）があった場合等を含め、利用者が被った損害又は損失に対して、一切の責任を負わないものとします。

3 当社は、利用者が本サービスの利用によって、他の利用者又は第三者に対して損害を与えた場合、その一切の責任を負わないものとします。

4 当社は、利用者が本サービスを通じて得る情報などについて、その完全性、正確性、確実性、有用性など、いかなる保証も行わないものとします。また情報の配信タイミングの適時性についても正確性を保証するものではなく、一切の責任を負わないものとします。

5 当社は、利用者が使用するいかなる機器、ソフトウェアについても、その動作保証を一切行わないものとします。

6 本サービスの利用の際に発生した、電話会社又は各種通信業者より請求される接続に関する費用は、利用者が自己責任において管理するものとし、当社は、いかなる保証も行わないものとします。

7 提供される売買システムの運用成績は、実際の結果であるか過去データによるテスト結果であるかにかかわらず、将来の運用成績や成功を保証するものではありません。従って、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社は一切の責任を負わないものとします。

8 本サービスのもつ自動発注機能は、取引方法の一つであり、自動発注の設定及び自動発注に対する全責任は利用者自身にあります。本サービスの不具合又は誤作動など、その損害が本サービスに起因する場合であっても、当社はその賠償責任を負わないものとします。

9 当社は、事前の予告なしに本システムに修正を施す権利を有します。

第11条 損害賠償の請求

利用者が本規約に反した行為又は不正若しくは違法に本サービスを利用することにより、当社に損害を与えた場合、当社は該当利用者に対して相応の損害賠償の請求（弁護士費用を含む）を行う場合があるものとします。

第12条 管轄裁判所

利用者とは当社は、本規約に関連する紛争について、その訴額に応じて、東京簡易裁判所又は東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とすることに合意します。

エコトレFX利用規約

◆本サービス利用に関する重要事項

- 1 本サービスは、別途当社と契約を締結した売買システムの提供企業（以下、シグナルプロバイダー）から受け入れた売買システムにおいて、当社が電磁的方法で配信する売買シグナルのもと、利用者の自動売買の設定に基づき自動的に発注します。そのため、売買シグナルの発生から本サービスによる発注までタイムラグがあります。また、市場の流動性等により同じ売買シグナルによる発注であっても、利用者によって約定価格が異なる場合があります。
- 2 本サービスは、各売買システムがお客様に代わって取引を行います。各売買システムには、取引の条件があらかじめ決められており、そのルールに従って新規取引および決済取引が自動的に行われ、当該売買システムが発する売買シグナルに、お客様の意思が反映されることはありませんが、決済取引に限り、手動による決済取引（成行注文）を行うことができます。エコトレFXは、預け入れた証拠金の額を上回る取引を行うことが出来ることから、場合によっては自動売買により、大きな損失が発生する可能性を有しております。また、その損失は、差し入れた証拠金の額を上回る場合があります。なお、提示されている売買システムの運用実績は、将来の運用結果を保証するものではありません。相場状況によっては、過去の運用実績を大きく下回る可能性があります。
- 3 本サービス上に表示されている売買システムのパフォーマンスデータは、シグナルプロバイダーが提示するデータ、また、売買シグナルによる発注結果に基づき計算し、表示しているため、実際の売買結果と異なる場合があります。また、過去データについては、スプレッド等を考慮していないもの、また、ひまわりFXシストレ口座（以下、「シストレ口座」という。）とは異なったスプレッドを考慮しているものが含まれます。なお、助言手数料は考慮しておりません。
- 4 売買システム採用に際しては、各シグナルプロバイダー契約に基づく適格審査および当社の定める採用審査を行っております。また、実際の取引においては、必ずしも各売買システムの売買基準が保証されるものではありません。
- 5 売買システムが行う売買判断の使用レートと、それに基づくお客様の売買執行の使用レートは異なる場合があります。
- 6 各売買システムの詳細は、エコトレFX取引画面内の売買システム詳細から確認できます。
- 7 売買システムは予告なく変更・停止および抹消する場合があります。売買システムの停止時には、当該売買システムの売買シグナルによる保有中のポジションを登録抹消日時において当社の定める任意の価格により決済する場合があります。
- 8 本サービスの画面上で表示される保有ポジションの評価損益は、為替レートのデータ取得タイミングおよび処理のタイミングによりタイムラグが発生する場合があります。なお、スワップ金利は、シストレ口座には反映されますが、本サービスには反映されません。
- 9 本サービス上に表示される「目安資金」は、運用するにあたり参考となる金額を表示しており、継続した運用を保証するものではありません。
- 10 本サービスの売買シグナルによって自動発注した際、注文及び約定結果が本サービスの画面上に反映されるまで時間が掛かる場合があります。
- 11 利用者は、自動売買による運用を開始する際、また、運用を停止する際は本サービス上で設定する必要があります。
- 12 本サービスは、本サービスに紐づく売買が発生した場合にその旨をメールにて通知する機能がありますが、利用者がこれを希望した場合は時間を問わず配信されます。
- 13 売買シグナルによる発注はシストレ口座にて執行されます。
- 14 売買システム開始時に指定できる最大ポジション数の設定は、ループ・イフダン専用の機能となります。
- 15 本サービスでは定期的に利用者のシストレ口座内の証拠金残高（以下、「残高」）及び本サービスと紐づくポジション（以下、「ポジション」）を確認し、残高及びポジションが無い場合には、自動売買の設定を当社にて停止いたします。自動売買の設定を停止した場合、本サービスを継続して利用するには利用者が本サービス上から再度自動売買の設定を行う（運用を開始）必要があります。
- 16 新規注文および決済注文の執行中（処理中）には、当該処理完了後まで手動決済および売買システムの停止を行うことはできません。
- 17 取引時間の終了前は著しく流動性が低下することから、新規シグナルによる発注を見送る場合があります。
- 18 取引時間の開始直後または終了前は著しく流動性が低下することから、売買シグナルによる発注を一時的に待機する場合があります。

エコトレFX利用規約

- 19 売買シグナルによる発注時、口座解約等が要因で売買が行えなかった場合、当社が自動売買の設定を停止（運用を停止）いたします。
- 20 売買シグナルによる発注時、通信環境に起因する接続不良やその他不具合が発生した場合、売買シグナルとの時間および価格の大幅な乖離を防ぐため、新規注文においては一定時間の経過をもって当該シグナルによる発注を停止し、その時の売買シグナルを見送る場合があります。
- 21 何らかの事由により本サービス上のポジションとシストレ口座のポジションに差異が確認された場合、ポジションを決済するなどの調整をする事があります。
- 22 本サービスの「手動決済」機能を利用した場合、シストレ口座に対し該当売買システムがその時点で保有する全てのポジションを決済する注文を発注しますが、自動売買の設定は継続されます。
- 23 ある1種類の売買シグナルにより保有した1個のポジションについて、接続先口座であるシストレ口座の取引画面上（本サービスとは異なる画面）で利用者が手動で全決済（例：10万米ドルの買いポジションを手動で全決済）した場合、当該ポジションは本サービスにおいても決済されたと認識されますが、自動売買の設定は継続されます。
- 24 手動決済と新規シグナル発生のタイミングによっては、新規約定後の即時決済や全ポジション決済後の新規約定が行われる場合があります。
- 25 マイセーフティ機能で設定した金額は、必ずしも保証されるものではありません。設定した金額に到達後、全ポジションを決済し終えるまでに時間を要する場合があるなど、相場状況によっては設定金額以上の損失が発生します。
- 26 シグナルプロバイダー、また、本サービスのシステム障害により、本サービスの一部または全部が停止していた期間に発生し得る売買シグナルについては、遡って発生させることは原則いたしません。
- 27 本サービスの提供に重大な支障をきたす事象が発生した場合は、利用者に対し本サービス上やメールなどを用いて通知します。
- 28 本サービスに該当および関連する障害が発生した場合、利用者は当社が行う対応に従います。
- 29 本サービスは、本サービス利用規約及びシストレ口座に付随する全ての約款・規約・規定に準じます。
- 30 本サービスは投資の利便性を高めることを目的としたものであり、投資に当たっての意思決定、最終判断は利用者ご自身の裁量と責任でお願いします。

2015年11月6日